

科目名	科目担当代表教員	ページ数
食生活論	荒井 三津子	2
生活と社会環境	今泉 博文	7
日本国憲法	池田 杏奈	12
数理・データサイエンス・AI実践	松岡 審爾	17
数理・データサイエンス・AI入門	松岡 審爾	21
統計の基礎	武田 裕康	25
英語Ⅱ	Walzem Allen George	30
韓国語Ⅱ	金 京室	35
中国語Ⅱ	野間 晃	40
生涯スポーツⅡ	平岡 英樹	45
人体機能学Ⅱ	鹿内 あずさ	50
人体構造学Ⅱ	鹿内 あずさ	55
免疫学	澤谷 啓行	60
メンタルヘルス	藤村 恵理子	64
薬理学	長多 好恵	69
関係法規	佐藤 洋子	74
生涯発達論	辻 幸美	78
保健医療福祉行政論	井上 仁美	82
看護理論	藤長 すが子	86
看護倫理	藤長 すが子	90
日常生活援助技術Ⅰ	竹之内 優美	94
日常生活援助技術Ⅰ	竹之内 優美	99
日常生活援助技術Ⅱ	竹之内 優美	104
日常生活援助技術Ⅱ	竹之内 優美	109
成人看護学の基礎	尾形 裕子	114
地域看護学の基礎	鹿内 あずさ	118

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		教養科目 人間と文化					
科目名		食生活論				ナンバリング	1164
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	荒井 三津子						
授業の位置づけ							
<p>ヒトが食べるモノ、食べるコト、食べる理由を広く学び、食生活全般を扱う学習に必要な基礎知識を身につける教養科目である。また理学療法学科ではディプロマ・ポリシーの「医療に関わる他の職種の役割を理解し、協力関係が築くことができる」と、作業療法学科でのディプロマ・ポリシーとして、「作業療法を実践するために必要な基本的知識を身につけている」と特に関連がある科目である。栄養学系教科、調理学および調理科学系教科、食品学系教科の学習の理解に役立つだけでなく、生物学や食文化に視野を広げることで、さまざまな領域の指導者、教育者に必要な教養と実践力を身につけることができる科目である。</p>							
授業の概要							
<p>ヒトはなぜ食べるのか。なぜダイエットするのか。なぜ食卓に花を飾るのか。人間にとって「食」は単に栄養補給のための餌ではなく「食事」である。生命を維持するための「食事」の機能と重要性を確認し、国内外の食事の歴史、文化、食器、食の様式や食事作法、食に関する広告や現在の食事情、将来予測される問題点等について多角的に学習する。</p>							
到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> ○ 医療現場や教育機関で食事に関する指導を行う上で必要な食器、食具の歴史や種類、使い方、食空間の演出方法に関して説明できる。 ○ 国内外の食事様式の歴史を学ぶことで、食べることの文化的な意味を説明できる。 ○ 食に関する情報や広告、外食産業などの仕組みや戦略を理解し、多様化する食事の未来を予測できる。 ○ インターネット時代の食事やキャラクター弁当、遺伝子組み換えや環境問題など、食事に関する幅広いテーマについて、将来、医療や教育の現場で問題を提起し議論を展開できる。 							
授業の方法							
<ol style="list-style-type: none"> ①教科書を利用し、確実に講義の内容を把握できるよう指導する。 ②必要に応じて板書とパワーポイントを利用し、視覚的な理解を深める。 ③内容に合わせて、学生たちの調査報告をとりいれ、活発な議論により、食生活への関心を深める。 ④中間テストとレポート提出により理解度をはかり指導する。 							
ICT活用							
なし							
実務経験のある教員の教育内容							

北海道立の高等学校と歯科衛生士専門学校で生物学、調理師学校食文化等の教育経験がある。また長く生活文化研究所を運営しており、人間の生活と食文化、食生活に関する幅広い知識と指導経験がある。この経験を生かし、卒業後の実務に活かせる知識と技術、指導者になるための心構えも指導する。

課題に対するフィードバックの方法

調査レポートと確認試験を採点評価後返却し、講義時間内に解説を行う。提出してもらったレポートと確認試験に質問欄を設け、質問があった場合は直接コメントを返す。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	<「食」の学び方>「食」は生理的、文化人類学的、社会的、生物学的、環境学的など様々な方向からアプローチできる興味深いテーマである。初回は自分たちが食べる理由や目的について真摯に考察し、15回の講義内容を俯瞰して学習の意味を確認する。	私たちが食べる理由について考えてくること。90分程度。	科書全体の構成を把握し、「食べる」ことを学ぶ意義を考察する。90分程度。
担当教員			
第2回	<食べるヒト・食べるってなに?生きるってなに?> 私たちが食べなければならない理由について、イキモノとはなにかという生物学的視野から学び直す。動物に共通する食べる仕組みの精巧さを確認し、同時に他の動物と人間の「食べる」理由の違いについて考察する。	教科書P2～8を読んでくること。90分程度。	講義で学んだ「食べる理由」について整理しておくこと。90分程度。
担当教員			
第3回	<食べるヒト・食べる仕組みと最新の「腸内」事情> ヒトの消化の仕組みを概観し、食べモノと健康、腸内細菌および消化器系医療の最新事情について学ぶ。	教科書9～14まで読んでくること。90分程度。	消化の仕組みと腸内環境について理解する。90分程度。
担当教員			
第4回	<ヒトが食べない理由・ダイエットと肥満> ダイエットの起源とその変遷、現状と背景を学習する。過食の原因と効果的なダイエット法、機能性食品についての知識も確認し、栄養や健康の指導者としての姿勢を考える。	教科書P17～26まで読んでくる。90分程度。	ヒトが痩せたい理由とダイエットの問題点について整理しておく。90分程度。
担当教員			

第5回	<p><ヒトが食べない理由・ベジタリアン事情とフードファディズム> 世界にひろがるベジタリアンの実状とその思想の背景、および、特定の食品に過剰な健康効果を期待したり否定するフードファディズムについて学習する。</p>	<p>前回学んだ『食べない理由』を復習し、P28～30、P72～73を読んでもくる。90分程度。</p>	<p>「食のタブー」とベジタリアン、フードファディズムについて説明できるようにしておく。90分程度。</p>
担当教員			
第6回	<p><「食べ方」を学ぶ理由> 学校における栄養教育と家庭と社会における「食べ方」の学びについて学習する。国内外のさまざまな食事作法が誕生した背景と食事作法の意味、さらに継承されつづける理由について考察する。</p>	<p>教科書P41～51まで読んでおくこと。90分程度。</p>	<p>作法が必要な意義について考察しておくこと。90分程度。</p>
担当教員			
第7回	<p><ヒトから人間へ・食べるモノの変遷> 私たちの「食」の過去と現在を概観する。日本の食事様式の歴史や、外食と中食の歴史と現状についても学習する。そのプロセスで「餌」から「食事」へとその意味を変えてきた人間の「食」の複雑さについて考察する。 アクティブラーニングとして、周囲と自分たちの食事について話し合いをし、発表してもらう。</p>	<p>教科書P54～61まで読んでおくこと。90分程度。</p>	<p>日本の食の歴史を整理しておくこと。餌と食事の違いを説明できること。90分程度。</p>
担当教員			
第8回	<p><おいしさとはなにか> 「からだにいい」とはなにか。「栄養がある」とはどういうことか。「おいしい」とはどのようなものか。普段なにげなく口にする表現の意味するところを科学的に学び、食事の機能と意味を理解する。</p>	<p>教科書のP72～80まで読んでおくこと。90分程度。</p>	<p>「おいしい」とはどのようなことか整理しておくこと。90分程度。</p>
担当教員			
第9回	<p><ヒトはなぜ食べるのか> 講義の前半の総まとめを行い、人間が食べる理由、食べない理由について多方面から考察する。</p>	<p>前回までの講義内容を復習しておくこと。90分程度。</p>	<p>中間の総まとめの講義内容を復習しておくこと。90分程度。</p>
担当教員			
第10回	<p><「食」の未来> 染色体操作や遺伝子組み換えなど、最新の品種改良や魚介類の養殖について、その手法や課題、可能性について詳しく学習する。同時に食をめぐる地球規模の環境問題についても学び、未来の「食」に関する課題を考察する。</p>	<p>教科書p84～96まで読んでおくこと。90分程度。</p>	<p>養殖や染色体、遺伝子組み換えなどについて整理しておくこと。90分程度。</p>
担当教員			

第11回	<食事空間を学ぶ> 火と水、道具の利用がなければ私たちの「食」の発展はなかった。火と水がどのように扱われ、「台所」はどのように進化してきたか、その変化の社会的文化的意味も合わせて学習する。配膳や食事様式についても学び、食空間の機能についての知識を深める。	教科書p98～105まで読んでおくこと。90分程度。	台所と調理の進化を整理し、これからの食事について考察すること。90分程度。
担当教員			
第12回	<「食」をめぐる仕掛け・外食の歴史と広告> 外食の歴史を概観し、現代の外食産業を支える広告の機能と種類を学習する。そのことから私たちの食行動の変化や時代の流れ、加えて食の未来と問題点を広く考察する。	教科書p107～p115まで読んでおくこと。90分程度。	周囲にある食関連の広告を調査整理すること。90分程度。
担当教員			
第13回	<「食」の演出> 料理・食器・盛り付け・食卓・食空間のインテリアなど、人間はなぜ「食」の場を飾るのか。なぜ演出が必要なのか。色彩学やデザインの基礎を学び、食卓装飾の歴史をたどりながら、食べることの意味を広く考察する。	教科書p81～83、p124～p132を読んでおくこと。90分程度。	自分の周囲の食卓について調査してみる。90分程度。
担当教員			
第14回	<餌場から食事の場へ・テーブルコーディネートの機能> 食欲やコミュニケーションに大きく作法する食卓の演出について、具体的に学習する。色彩学やテーブルコーディネートの基礎知識を確認し、「食」の場面に必要な知識や技術の深さと広さについて学ぶ。	前回の講義内容を整理しておくこと。90分程度。	食卓の演出について具体的なテクニックを整理する。90分程度。
担当教員			
第15回	<年中行事と祭り・儀礼の食・縁起について> 食の場面における「ハレ」と「ケ」、および日本の冠婚葬祭や年中行事の食の多様性と意味について幅広く学習する。「食」がもつコミュニケーションツールとしての機能や、人間のこころの「よりどころ」や「やすらぎ」としての役割についても考察する。	年中行事に食べるものについて調査しておくこと。90分程度。	教科書全体の重要事項をまとめておくこと。90分程度。
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0		
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	70	確認テスト 2回	

<p>その他</p>	<p>30</p>	<p>調査レポートの評価</p>
<p>教科書</p>		
<p>食学入門ー食べるヒト・食べるモノ・食べるコトー / 荒井三津子 / 光生館</p>		
<p>参考文献</p>		
<p>なし</p>		
<p>履修条件・留意事項等</p>		
<p>私語厳禁。 毎回必ず教科書を持参すること。</p>		
<p>備考欄</p>		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		教養科目 人間と文化					
科目名		生活と社会環境				ナンバリング	1128
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	今泉 博文、金子 翔拓						
授業の位置づけ							
<p>各該当学科のディプロマ・ポリシー・カリキュラムポリシー・アドミッションポリシーを鑑み、現代日本の社会環境を高齢者や代表的な疾患による身体障害を持つ人を通して理解するとともに科学的思考力と創造的思考力を活用して看護の発展と社会へ貢献できる研究の基本的な能力を身につける共通重要科目であり、更に人の生活全般と関連し、地域医療や社会環境を考える基礎となると共に、将来医療職種専門職を希望される学生においては、必要と考える。特に看護科においては、看護の基盤となる問題解決能力を活用して看護過程の展開や臨床判断を行うための基本的な能力を会得する重要科目である。(思考・判断・表現)</p>							
授業の概要							
<p>現代日本においては、様々な疾患や障害を持つ人々が地域社会で生活している。この現状を踏まえ、疾患や障害といった背景を持ちながらも快適な生活を送るためにはどのような生活環境の整備が求められているのかについて、生活環境が生活の質に大きく影響する疾患や障害の特徴を理解したうえで考察する。</p>							
到達目標							
<p>① 現代日本の地域医療の現状を説明できる。 ② 代表的な疾患に適合した生活環境の整備について説明できる。 ③ 今後の日本における生活環境のあるべき姿を考え、説明することができる。</p>							
授業の方法							
<p>パワーポイントを用い講義形式ですすめる。また、講義後に課題を提示し講義内容の確認を行う。</p>							
ICT活用							
<p>授業中の課題の一部にグーグルクラスルームを用いた双方向授業を取り入れる。</p>							
実務経験のある教員の教育内容							

金子翔拓:病院やクリニックなどの身体障害領域において作業療法士として勤務した経験を活かし、社会と生活環境の授業を行う。
 今泉博文:国立病院機構施設・ナショナルセンターでの施設にて職場管理責任者として勤務した経験を活かして医療保険制度、介護保険制度および筋ジストロフィー、重症心身障害児(者)、精神疾患患者等の障害者の生活と社会環境について授業を行う。

課題に対するフィードバックの方法

前回授業の最後に提出された課題に関して、次回の授業で補足説明や解説を行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	オリエンテーション 医療保険制度の現状を理解する(診療報酬制度等も含む) (今泉)	自身を取り巻く生活環境について考えてくること。(90分)	講義内容をノートにまとめること。(90分)
担当教員	今泉 博文		
第2回	介護保険制度の現状を理解し、地域社会で在宅サービスを受ける対象者について理解する(金子)	介護保険制度について調べておくこと。(90分)	講義内容をノートにまとめること。(90分)
担当教員	金子 翔拓		
第3回	高齢者の生活と社会環境① 高齢者(虚弱老人・認知症を含む)が生活するうえでの「リスク」について理解を深める(今泉)	高齢者が抱えるリスクについて調べておくこと。(90分)	講義内容をノートにまとめること。(90分)
担当教員	今泉 博文		
第4回	高齢者の生活と社会環境② 高齢者(虚弱老人・認知症を含む)に適する生活環境の整備について理解を深める(今泉)	高齢者が生活しやすい環境とは何かについて調べておくこと。(90分)	講義内容をノートにまとめること。(90分)
担当教員	今泉 博文		

第5回	障害者の生活と社会環境① 脳卒中患者の症状や障害の概要を説明し、患者の生活様式について理解を深める(金子)	脳卒中とはどのような症状を呈するのかについて調べておくこと。(90分)	講義内容をノートにまとめること。(90分)
担当教員	金子 翔拓		
第6回	障害者の生活と社会環境② 脳卒中患者の生活環境の整備について考える(金子)	脳卒中患者が生活しやすい環境とは何かについて調べておくこと。(90分)	講義内容をノートにまとめること。(90分)
担当教員	金子 翔拓		
第7回	障害者の生活と社会環境③ 筋ジストロフィー疾患患者の生活環境の整備について考える(今泉)	筋ジストロフィー疾患患者が生活しやすい環境とは何かについて調べておくこと。(90分)	講義内容をノートにまとめること。(90分)
担当教員	今泉 博文		
第8回	障害者の生活と社会環境④ 筋ジストロフィー疾患患者の生活環境の整備について考えるパート2(今泉)	前回の講義で提示された疾患の患者が生活しやすい環境とは何かについて調べておくこと。(90分)	講義内容をノートにまとめること。(90分)
担当教員	今泉 博文		
第9回	障害者の生活と社会環境⑤ パーキンソン病患者の症状や障害の概要を説明し、患者の生活様式について理解を深める(金子)	パーキンソン病とはどのような症状を呈するのかについて調べておくこと。(90分)	講義内容をノートにまとめること。(90分)
担当教員	金子 翔拓		
第10回	障害者の生活と社会環境⑥ パーキンソン病患者の生活環境の整備について考える(金子)	パーキンソン病患者が生活しやすい環境とは何かについて調べておくこと。(90分)	講義内容をノートにまとめること。(90分)
担当教員	金子 翔拓		

第11回	障害者の生活と社会環境⑦ 重症心身障害児(者)の症状や障害の概要を説明し、患者の生活様式について理解を深める(今泉)	重症心身障害児(者)はどのような症状を呈するのかについて調べておくこと。(90分)	講義内容をノートにまとめること。(90分)
担当教員	今泉 博文		
第12回	障害者の生活と社会環境⑧ 精神疾患患者の生活環境の整備について考える(今泉)	精神疾患患者が生活しやすい環境とは何かについて調べておくこと。(90分)	講義内容をノートにまとめること。(90分)
担当教員	今泉 博文		
第13回	障害者の生活と社会環境⑨ 脊髄損傷患者の症状や障害の概要を説明し、患者の生活様式について理解を深める(金子)	脊髄損傷とはどのような症状を呈するのかについて調べておくこと。(90分)	講義内容をノートにまとめること。(90分)
担当教員	金子 翔拓		
第14回	障害者の生活と社会環境⑩ 脊髄損傷患者の生活環境の整備について考える(金子)	脊髄損傷患者が生活しやすい環境とは何かについて調べておくこと。(90分)	講義内容をノートにまとめること。(90分)
担当教員	金子 翔拓		
第15回	ハンセン病とハンセン病療養施設の生活と社会環境について、過去の日本における偏見と差別を鑑み考える。 まとめ 1～14回までの内容について総復習を行い、障害を持つ人の生活環境について理解する。(今泉)	1～14回の内容について、これまでに作成したノートを確認しておくこと。(90分)	講義内容をノートにまとめること。(90分)
担当教員	今泉 博文		
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	定期試験は行わない	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	授業中の課題、授業への参加態度 なお、レポート課題等の提出期限を厳守についても評価の対象である。	

<p>その他</p>	<p>0</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加態度 ・レポート課題等の提出期限を厳守すること
<p>教科書</p>		
<p>なし(プリントにて対応)</p>		
<p>参考文献</p>		
<p>特に指定しない</p>		
<p>履修条件・留意事項等</p>		
<p>なし</p>		
<p>備考欄</p>		
<p></p>		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		教養科目 社会と制度					
科目名		日本国憲法				ナンバリング	1120
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	池田 杏奈						
授業の位置づけ							
人間社会のルールの一つである日本国憲法を学ぶことにより、幅広く教養を身につける科目である。							
授業の概要							
本科目では、日本国憲法が保障する基本的人権について概説する。その基礎として、「憲法」という語が意味する具体的内容や、人権が形成されてきた歴史といった総論的論点を学んだ上で、自由権、社会権等の基本的人権が保障されることの重要性を理解する。							
到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本国憲法を最高法規とする我が国の法体系について説明できる。 2. 様々な基本的人権について概要を述べるができる。 3. 法というルールを介して、社会人としての関係形成、問題解決の方法、変化する社会への対応など、我が国において生きていく上で生じ得る問題について自ら考え、論じることができる。 							
授業の方法							
パワーポイント及び配布印刷物を活用しながら講義形式で進める。 各講義中に毎回コメントシート(授業についての振り返り、思ったこと、疑問等を記述したもの)を提出する。 確認テストを時間内に行う(全15回)。提出方法についてはGoogle フォームを併用できるようにする予定である。							
ICT活用							
Google フォームのテスト作成機能を用いて練習問題を提供し自主学習を促す。							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし。			
課題に対するフィードバックの方法			
フィードバックとして理解度確認テストを実施後、解答の解説を行う。			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	【ガイダンス・裁判制度】 担当教員の自己紹介、授業の概要、予習と復習の方法、成績評価についての説明を行う。 日本の裁判制度の概要について学ぶ。	特になし。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員			
第2回	【子どもの人権】 校則を題材にして「子どもの人権」について解説する。	授業前に教科書を購入し、「Theme1 ブラック校則——子どもの人権」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員			
第3回	【外国人の権利】 法律上「国民」とは誰を指すのかを知り、「外国人」との権利の違いについて学ぶ。	「Theme2 欲しいのはまず選挙権——外国人の権利」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員			
第4回	【プライバシー権】 プライバシーとはどういうものとして、法律上どのように保護されているかを学ぶ。	「Theme3 わたしの秘密——プライバシー権」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員			

第5回	【自己決定権】 自己決定権は憲法によってどのように保障されているのかを学ぶ。	「Theme4 何の自己決定か? — 自己決定権」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員			
第6回	【法の下での平等】 以前の民法や刑法の条文を題材に、「法の下での平等」について学ぶ。	「Theme5 再婚は100日後 — 法の下での平等(1)」「Theme6 むかし親殺しありき — 法の下での平等(2)」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員			
第7回	【信教の自由】 「信教の自由」を保障している条文の構造を理解し、保障の限界について判例を基に学ぶ。	「Theme7 法廷の宗教戦争 — 信教の自由」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員			
第8回	【表現の自由】 「表現の自由」が日本国憲法の保障する人権の中でもとりわけ重要度の高いものといわれる理由を考察し、どのような表現の自由であっても保障されるのかということについて考える。	「Theme8 ポルノの権利 — 表現の自由(1)」「Theme9 人殺し教えます — 表現の自由(2)」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員			
第9回	【営業の自由】 営業の自由はどのように保障されているかを学び、どのような場合に制限されるかについて考える。	「Theme10 銭湯の楽しみ — 営業の自由」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員			
第10回	【生存権】 憲法25条が保障する「健康で文化的な最低限度の生活」とはどのような生活を指すのかについて考える。	「Theme11 クーラーのない生活 — 生存権」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員			

第11回	【教育権】 学校で子どもたちに教えらるる教育の内容を決定できるのは誰であるかについて、判例を基に学ぶ。	「Theme12 教科書はつらいよー教育権」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員			
第12回	【死刑制度】 死刑制度の是非について憲法の視点から考える。	「Theme13 罪と罰のはてー死刑制度」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員			
第13回	【国会・内閣・裁判所】 日本国憲法が採用する「二院制」について学び、「国会」の役割について考える。 内閣総理大臣はどのようにして選ばれるのかについて学ぶ。 裁判に関する諸権利について学び、裁判員裁判について考える。	「Theme16 両院は車の両輪ー国会(1)」「Theme17 民の声 vox Dei?ー国会(2)」「Theme18 首相の選び方ー内閣」「Theme19 裁判はだれのためにー裁判所」を読んでおく(120分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員			
第14回	【天皇・平和主義】 明治憲法下での天皇と現行憲法の天皇の違いについて学ぶ。 憲法9条と自衛隊の関係について考える。	「Theme14 皇室外交?ー天皇」「Theme15 人権の条件ー平和主義」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員			
第15回	【地方自治・憲法改正・まとめ】 地方自治とは何かについて学ぶ。 憲法改正の手続きと憲法改正の限界について学ぶ。	「Theme21 住民投票で決着を!ー地方自治」「Theme22 憲法の変身ー改憲の可能性」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	実施しない。	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	授業内で実施する確認テスト、授業への参加態度、授業中で提出するコメントシート(全15回)により評価する。	

その他	0	なし。
教科書		
初宿正典、高橋正俊、米沢広一、棟居快行『いちばんやさしい憲法入門〔第6版〕』(2020年、有斐閣)		
参考文献		
講義中に適宜紹介する。		
履修条件・留意事項等		
特になし。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		教養科目 自然と科学					
科目名		数理・データサイエンス・AI実践				ナンバリング	
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	1
担当教員	松岡 審爾						
授業の位置づけ							
<p>数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、それを適切に理解し活用する基礎的な能力を養うための科目である。理学療法学専攻のディプロマ・ポリシー「医療・保健・福祉の多様な問題を総合的に把握し、データを分析し解決できる能力を身につけている」と関係がある科目である。作業療法学専攻のディプロマ・ポリシー「医療・保健・福祉の多様な問題を総合的に把握し、データを分析し解決できる能力を身につけている。」「科学的根拠に基づいた作業療法の実践のために必要な問題探求力と問題解決思考を身につけている。」と特に関係がある科目である。看護学科のディプロマ・ポリシー「看護学の本質を理解するために必要な、文理横断的かつ学際的な知識と論理的な思考力を有し、看護を取り巻く状況の変化に柔軟に対応できる。」と特に関係があり、「グローバル化の進展を視野に入れつつ、科学的思考と創造的思考で生涯にわたって看護学と医療保健の質向上に貢献できる。」と関係がある科目である。</p>							
授業の概要							
<p>表計算ソフトやプログラミング言語であるPythonを用いて、インターネットから情報を取得してその特徴をとらえる方法、およびデータサイエンスで用いられるAIの手法を駆使してデータを分析する方法を習得する。</p>							
到達目標							
<p>インターネットから目的とするデータを取得することができる。 データを分析できる形に整えることができる。 データの基本統計量の計算や可視化を行うことによりデータを読みとることができる。 データの特徴を説明することができる。 任意のデータファイルを読み込み、機械学習の教師あり学習の回帰、分類の手法でデータを分析することができる。</p>							
授業の方法							
<p>パソコンを用いた演習を行う(全8回)。説明部分はパワーポイント等を用いて講義形式ですすめる。</p>							
ICT活用							
<p>Google Formのテスト作成機能を用いて、宿題を出題する(全8回)。パソコンを用いた演習を行う(全8回)。</p>							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし			
課題に対するフィードバックの方法			
フィードバックとして宿題の正解を表示するとともに、宿題と同時に提出された質問事項に答える。			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	<p>【データの取得】e-Stat,気象庁のWebサイトを利用してインターネットからデータを取得する実践を行う。</p> <p>【データを扱う方法】取得されたデータを分析できる形に整える方法を習得する。</p> <p>【データを読む方法】データの特徴を得るために表計算ソフトの分析ツールを用いて基本統計量(代表値の計算、データのばらつき(分散、標準偏差))を実際に計算する。データの分布を表すヒストグラムの作成法を習得する。</p>	教科書1のp30-p31, p122-p133を読み、教科書2の第6講の2を復習しておく(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と提示資料を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第2回	<p>【表計算ソフトを用いたデータの可視化による説明】グラフによるデータの表現を概観する。特に2変数のデータの間関係性を調べるために、表計算ソフトを用いた散布図の作成、相関係数の計算、および散布図から単回帰式を求める方法を習得する。また、分類の様子を概観するための層別散布図の作成方法を習得する。</p> <p>【クロス集計】ピボットテーブルを活用してクロス集計を行う方法を習得する。</p>	教科書1のp140-p143, p146-p151, p158-p161を読み、教科書2の第6講の4を復習しておく(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と提示資料を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第3回	<p>【AI開発を行う道具・Python入門】Google Colaboratoryを用いてプログラム言語であるPythonを実行する方法を習得する。また、Python言語を用いて、プログラミングの基本である順次処理、条件分岐、反復処理を体験する。</p>	教科書2の第11講の4～7を読んでおく(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と提示資料を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第4回	<p>【Google Colaboratory上でのファイル読み込み】Google ColaboratoryにExcel形式やcsv形式のファイルを読み込みデータを使用できるようにする方法を習得する。</p> <p>【Pythonを用いてデータを読み説明する方法】Pythonを用いた代表値の計算、データの分布やばらつき、2変数の相関を調べる方法を習得する。Python用のMatplotlibというライブラリーを用いてデータの可視化の方法を習得する。</p>	教科書2の第12講の3～4を読んでおく(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と提示資料を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			

第5回	【機械学習 教師あり学習(回帰)】回帰分析の概要を復習したのち重回帰において説明変数が量的変数の場合に限らず説明変数にダミー変数を含む場合の意味について学習する。表計算ソフトの分析ツールやPythonを用いて実際に回帰分析(単回帰、重回帰)を行う方法を習得するとともに、その活用法を学習する。	教科書1のp64-p77を読み、教科書2の第14講の6を読んでおく(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と提示資料を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第6回	【機械学習 教師あり学習(分類)】プログラミング言語であるPython用のscikit-learnというライブラリーを用いて機械学習の様々な手法(データの分類を行うロジスティック回帰分析、決定木分析、ランダムフォレストなどおよびデータのクラスタリングを行うk-means法)の特徴を理解し、それらの実装を体験する。 【機械学習 教師なし学習】Python用のscikit-learnというライブラリーを用いて機械学習によるクラスタリングを体験する。また、主成分分析の実装を体験する。	教科書2の第14講の5を読んでおく(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と提示資料を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第7回	【ニューラルネットワークを体験する】ニューラルネットワーク、ディープラーニングの概要を復習したのち、さらに詳細な理解をするためにA Neural Network Playgroundを用いてニューラルネットワークにおける隠れ層の意味、活性化関数、過学習と正則化、ハイパーパラメータについて学習する。	教科書2の第5講の4のp76-p77を復習しておく(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と提示資料を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第8回	【Pythonによるニューラルネットワークの実装】PythonのKerasというライブラリーを用いてニューラルネットワークを実装する方法を習得する。 【データの分析実習】これまでに習得した機械学習の手法を用いてデータを分析する実習を行う。	教科書2の第7講を読んでおく(90分)。	授業で行った全範囲について復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし	
定期試以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	宿題の提出と授業内における提出ファイルにより評価する。	
その他	0	なし	
教科書			

1. はじめの第一歩 基礎からはじめるデータサイエンス／ノア出版(前期「情報処理リテラシー」の教科書)
2. はじめてのAIリテラシー／岡嶋裕史、吉田雅裕／技術評論社(後期「数理・データサイエンス・AI入門」の教科書)

参考文献

AIリテラシーの教科書／浅岡伴夫他／東京電機大学出版局
Python3年生機械学習のしくみ／森巧尚／翔泳社
Q&A AIの法務と倫理／古川直裕他／中央経済社

履修条件・留意事項等

CL教室にてGoogleアカウントでログインができるようにID、パスワードがわかるようにしておいて下さい。
教科書は2冊とも他の教科でも使用しているものなので、重複して購入しないように注意してください。

備考欄

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		教養科目 自然と科学					
科目名		数理・データサイエンス・AI入門				ナンバリング	
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	1
担当教員	松岡 審爾						
授業の位置づけ							
<p>数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、それを適切に理解し活用する基礎的な能力を養うための科目である。また、理学療法学専攻のディプロマ・ポリシー「医療・保健・福祉の多様な問題を総合的に把握し、データを分析し解決できる能力を身につけている」と関係がある科目である。また、作業学療法学専攻のディプロマ・ポリシー「医療・保健・福祉の多様な問題を総合的に把握し、データを分析し解決できる能力を身につけている。」「科学的根拠に基づいた作業療法の実践のために必要な問題探求力と問題解決思考を身につけている。」と特に関係がある科目である。看護学科のディプロマ・ポリシー「看護学の本質を理解するために必要な、文理横断的かつ学際的な知識と論理的な思考力を有し、看護を取り巻く状況の変化に柔軟に対応できる。」と特に関係があり、「グローバル化の進展を視野に入れつつ、科学的思考と創造的思考で生涯にわたって看護学と医療保健の質向上に貢献できる。」と関係がある科目である。「数理・データサイエンス・AI実践」につながる科目である。</p>							
授業の概要							
<p>ICT(情報通信技術)の進歩によってビッグデータをはじめとする様々なデータから、統計、科学的手法、人口知能(AI)を駆使して価値を引き出すデータサイエンスが求められている。この授業ではデータサイエンスの概略や代表的な数理的手法、なかでもAIのさまざまな手法や活用事例を学ぶ。さらに、データやAIの利活用において留意すべき事項も学習する。</p>							
到達目標							
<p>数理・データサイエンス・AIが、現在進行中の社会変化に深く寄与し、生活に影響を与えていることを説明できる。 数理・データサイエンス・AIが日常生活や社会の課題を解決するうえで有用であると同時に限界もあることについて説明できる。 数理・データサイエンス・AIが適用されることにより様々な領域であらたな価値がうみだされている実例をあげることができる。 数理・データサイエンス・AIを活用するにあたって留意すべき事(ELSI、個人情報保護、データを扱う上での倫理)について説明できる。 実際のデータが与えられたとき、そのデータの全体像をよみとり、その特徴を可視化するための手法を説明することができる。</p>							
授業の方法							
<p>パワーポイント等を用いて講義形式ですすめる。</p>							
ICT活用							
<p>Google Formのテスト作成機能を用いて、宿題を出題する(全8回)。掲示板アプリを用いて意見を出し合う(第7回、第8回)。</p>							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし			
課題に対するフィードバックの方法			
フィードバックとして宿題の正解を表示するとともに、宿題と同時に提出された質問事項に答える。			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	【データ・AI活用により社会で起きている変化および最新動向】ICT(情報通信技術)の進歩によるビッグデータの集積やIoTの登場、およびAI ((Artificial Intelligence: 人工知能)の技術の発達、それらがもたらすSociety 5.0の社会をイメージできるようにする。【社会で活用されているデータ】データの種類、および社会でどのようにデータが活用されているかを学ぶ。【データ・AIの活用領域】AIとはなにか、AIの社会における利活用事例を学ぶ。	教科書の第1講の1、第1講の2、第2講、第3講の1を読んでおく(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と提示資料を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第2回	【実データの取得とデータ分析のプロセス】データ分析のプロセスを概説したのち、外部団体(e-Stat等)の実データをインターネットから取得する方法、実データの加工解析の概要を学ぶ。【データを説明する方法】データの分布(ヒストグラム)と代表値、データのばらつきについて概説する。2変数のデータの間の関係を調べるための散布図からわかること、相関と因果関係について学ぶ。データのグラフによる表現について学ぶ。	教科書の第6講を読んでおく(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と提示資料を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第3回	【AIの手法1】AIに含まれる分析技術を理解する。機械学習の学習方式の違い(教師あり、教師なし、強化学習)を理解する。このうち教師あり機械学習の手法には回帰と分類があることを学ぶ。この中でまず回帰を行う回帰分析とそれらの応用事例を学ぶ。	教科書の第5講の4のp74-p75, 第14講の1,第14講の2,第14講の6を読んでおく(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と提示資料を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第4回	【AIの手法2】教師あり機械学習の分類を行う手法のひとつとしてよく用いられるロジスティック回帰分析および決定木分析の概略を理解する。機械学習の分類における結果の検証方法を学ぶ。AIで問題となる過学習について理解する。教師なし学習の手法のうちクラスタリングについて学ぶ。	教科書の第14講の3のp216, 第14講の4のp76-p77を読んでおく(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と提示資料を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			

第5回	【AIの手法3】 教師なし機械学習の手法のうちアソシエーション分析(=連関分析)について学ぶ。 ニューラルネットワーク、ディープラーニングの概略を学ぶ。 ディープラーニングによる画像認識の概略を理解する。	教科書の第14講の3のp217,第14講の7のp233,第5講の4のp226-p227を読んでおく(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と提示資料を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第6回	【社会におけるAIの利活用の現場】 実際の事例を紹介しながら、データの有用性と人の価値観を組み合わせたアプローチについて学ぶ。一般的なデータサイエンスのアプローチを通して業務改善を行った事例や、それによる変化などを紹介する。 【実データを用いた解析と結果の共有・伝達方法】 データの共有・伝達に関して、FOOD & LIFE COMPANIES(スシロー)での事例を元に、DWH『SnowFlake』でのデータ解析、共有、伝達の流れを紹介する。 【データ・AI利活用の最新動向】	AIが社会において利活用されている例を調べておく。また、クラウドデータプラットフォームとはなにかを調べておく(90分)	提示資料を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第7回	【データを守るうえでの留意事項-情報セキュリティ・情報倫理】 情報化社会におけるデータの守り方である情報セキュリティ、個人情報の保護、情報を扱う上での法規や倫理について理解する。 【データ・AIを扱う上での留意事項1 ELSI、AIの公平性・平等性・透明性・説明可能性】 すべての科学・技術に関する普遍的考え方であるELSI(Ethical:倫理的、Legal:法的、Social Issues:社会的課題)について学ぶ。公平性、平等性とデータバイアス、AIの透明性・説明可能性などについて学ぶ。	教科書の第7講の2のp99,第8講を読んでおく(90分)。	授業に関連する教科書の範囲と提示資料を復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
第8回	【データ・AIを扱う上での留意事項2 AIに関する社会的課題】 AIに関する様々な社会的課題(AIにより人間が支配される可能性、人間の仕事の激減、AIによるトラブルと責任の所在、ビッグデータとプライバシー、AIの創作物に対する著作権)について学ぶ。	教科書の第7講を読んでおく(90分)。	授業で行った全範囲について復習し宿題を行う。(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし	
定期試以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	宿題の提出と授業内における提出ファイルにより評価する。	
その他	0	なし	
教科書			

はじめてのAIJテラシー／岡嶋裕史、吉田雅裕／技術評論社

参考文献

AIJテラシーの教科書／浅岡伴夫他／東京電機大学出版局
Python3年生機械学習のしくみ／森巧尚／翔泳社
Q&A AIの法務と倫理／古川直裕他／中央経済社

履修条件・留意事項等

なし

備考欄

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		教養科目 自然と科学					
科目名		統計の基礎				ナンバリング	1156
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	武田 裕康						
授業の位置づけ							
<p>社会で必要となるスキルのひとつである、データ解析を中心とした科学的分析力を修得する科目である。 「統計と社会調査法」(健康、理学、作業)、「医療統計学」(理学)、「理学療法研究」(理学)と連携している教養科目である。</p>							
授業の概要							
<p>主としてネイマン-ピアソン理論に基づき、個々の数量的現象の変動や差異と有意性、および集団の特性と変化の推移を理解する手段として統計学の基本的な知識を身につける。さらに統計手法を利用して様々な自然現象や社会現象を把握する際の留意点を十分に理解したうえで、代表値の求め方や分散の取り扱い、相関関係の検討法、各種検定法の特性などを学び、コンピュータを利用して統計処理するための基本理論を学ぶ。</p>							
到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> 1. データをもとにして統計的な記述を行いその特徴を見出すことができる。 2. 統計的推定の考え方を説明することができる。 3. 統計的検定の考え方を説明することができる。 4. 各種検定法の特性を理解し、データに適した方法を選択できる。 5. 統計検定を正しく行い、適切な検定結果から正しい結論を導くことができる。 							
授業の方法							
<p>パワーポイントと配布印刷物を用いて講義形式ですすめる。 理解度確認テストを実施するとともに、宿題を課す(全15回)。第6回以降の後半は問題解決を通じて能動的に学ぶアクティブ・ラーニング型となる。 フィードバックとして理解度確認テスト・宿題を実施後、解答の解説を行う。</p>							
ICT活用							
<p>Google Classroomの小テスト機能を用いて練習問題を提供し自主学習を促す。</p>							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし。

課題に対するフィードバックの方法

フィードバックとして、理解度確認テスト・宿題を実施後、解答の解説を行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	【記述統計①】データの整理と視覚化をおこなうための度数分布表とヒストグラム、また、データを代表する値である平均値と中央値、最頻値について高校までに学習した内容を確認する。また、統計処理の対象となるデータが4つの尺度(比例尺度、間隔尺度、順序尺度、名義尺度)に分類されることを学ぶ。	教科書1のp14～p27を読んでおくこと。(90分)	配布プリントを復習し宿題プリントを行うこと。(90分)
担当教員			
第2回	【記述統計②】データのばらつきを表す指標(散布度)である分散、標準偏差、四分位偏差について高校までに学習した内容を確認し、データの代表値と散布度の表し方を学ぶ。また、確率分布を理解し、二項分布および代表的な分布である正規分布の性質を理解する。	教科書1のp28～p31、p42～p48、p60～p67を読んでおくこと。(90分)	配布プリントを復習し宿題プリントを行うこと。(90分)
担当教員			
第3回	【推測統計①】統計的調査を母集団全体に行うことは実用的ではないので、標本を抽出して母集団の性質を推測する。まず母集団が正規分布することを仮定して標本から母数を推定する考え方を学んだのち、正規母集団の分散が既知のときに母平均を区間推定する方法を学ぶ。	教科書1のp84～p89、p96～p98、p100～p102、p106～p109、p112～p117を読んでおくこと。(90分)	配布プリントを復習し宿題プリントを行うこと。(90分)
担当教員			
第4回	【推測統計②】正規分布する母集団から標本抽出し、母分散を区間推定する方法を学ぶ。また、正規分布するが分散が未知の母集団、さらには分布も分散も未知の母集団から標本抽出し、母平均を区間推定する方法を学ぶ。これらの理解に必要な自由度、中心極限定理、t分布、カイ二乗分布を学ぶ。	教科書1のp94、p133～136、p71～p73、p96～p98、p118～p128、p68～p70を読んでおくこと。(90分)	配布プリントを復習し宿題プリントを行うこと。(90分)
担当教員			

第5回	【推測統計③】統計的検定の基本の手順を習得し、検定における「帰無仮説」「危険率」「棄却」等の考え方を理解する。あわせて、片側検定、両側検定の使い分けや判定の誤り(第1種の過誤、第2種の過誤)を学ぶ。	教科書1のp138～p154を読んでおくこと。(90分)	配布プリントを復習し宿題プリントを行うこと。(90分)
担当教員			
第6回	【実践編①】関連2群の差の検定法として「対応あるt検定」「ウィルコクソン符号付順位和検定」を学ぶ。これは同じ個体内での変化など、関連のある2つの量に差があるかどうかを判定できる。2つの検定のうちどれを用いるかは正規性の有無で判断するので、正規性の検定も習得する。	教科書2のp48～p51、p101～p110を読んでおくこと。(90分)	配布プリントを復習し宿題プリントを行うこと。(90分)
担当教員			
第7回	【実践編②】独立2群の差の検定法として「スチューデントのt検定」「ウェルチのt検定」「マン・ホイットニー検定」を学ぶ。これらの検定のうちどれを用いるかは正規性の検定、等分散性の検定により判断する。なお、等分散性の検定に必要なF分布についても紹介する。	教科書1のp74～p76、p167～p170 教科書2のp81～99を読んでおくこと。(90分)	配布プリントを復習し宿題プリントを行うこと。(90分)
担当教員			
第8回	【実践編③】独立な多群(3群以上)の差を検定する方法として「一元配置分散分析」を分散分析の原理の基本とともに学ぶ。また、正規性や多群の等分散性がないときに用いる「クラスカル・ウォリス検定」、多群の等分散性の検定である「パートレット検定」を学ぶ。	教科書1のp192～p206 教科書2のp111～p124 を読んでおくこと。(90分)	配布プリントを復習し宿題プリントを行うこと。(90分)
担当教員			
第9回	【実践編④】関連ある多群の差を検定する「重複(または反復)測定一元配置分散分析」を紹介する。また、2要因を同時に分析する「二元配置分散分析」を学ぶ。ここでは2要因の組合せに対してデータが1つの場合に用いる「繰り返しのない二元配置分散分析」「フリードマン検定」を学ぶ。	教科書1のp207～p213 教科書2のp125～p130、p139～p148を読んでおくこと。(90分)	配布プリントを復習し宿題プリントを行うこと。(90分)
担当教員			
第10回	【実践編⑤】分散分析では多群のどこかに差があるかを検定するが、どの群とどの群に差があるかはわからない。これを明らかにする検定が多重比較である。ここではその概念を学び様々な多重比較法を紹介する。	教科書2のp165～p195が範囲だが、このうちp165、p168～p172を読んでおくこと。(90分)	配布プリントを復習し宿題プリントを行うこと。(90分)
担当教員			

第11回	【実践編⑥】2要因の組合せに対してデータが複数存在する場合に用いる「繰り返しのある二元配置分散分析」について学ぶ。またここで得られる2要因の絡みあいの指標＝「交互作用」の解釈も学ぶ。さらに、「重複測定二元配置分散分析」についても紹介する。	教科書1のp218～p226 教科書2のp149～p163を読んでおくこと。(90分)	配布プリントを復習し宿題プリントを行うこと。(90分)
担当教員			
第12回	【実践編⑦】2つの変量の間に関連関係があるかどうかを調べる「ピアソンの相関係数の検定」「スピアマンの順位相関係数検定」を学び、ここで得られる相関係数の意味を学ぶ。また、回帰分析のうち単回帰分析について学ぶ。	教科書1のp34～p40、p172～p184 教科書2のp197～p218を読んでおくこと。(90分)	配布プリントを復習し宿題プリントを行うこと。(90分)
担当教員			
第13回	【実践編⑧】「2×2分割表」について学ぶ。これは2つの名義尺度の変数があり、各変数が2つの値しかとらないとき、変数間の関連の有無を調べる検定法である。ここでは、「カイ2乗独立性の検定」、「フィッシャーの直接確率計算法」、「マクニマー法」について学ぶ。	教科書2のp239～p253を読んでおくこと。(90分)	配布プリントを復習し宿題プリントを行うこと。(90分)
担当教員			
第14回	【実践編⑨】「m×n分割表」について学ぶ。これは2つの名義尺度か順序尺度の変数があり、少なくとも1つの変数が3つ以上の値をとるとき、変数間の関連の有無を調べる検定法である。ここでは「カイ2乗独立性の検定」等について学ぶ。	教科書2のp259～p276を読んでおくこと。(90分)	配布プリントを復習し宿題プリントを行うこと。(90分)
担当教員			
第15回	【実践編⑩】実践編の総まとめとして、調査したいデータに対してどの検定を選択したらよいかを習得する。 【番外編】統計的検定の問題点について考察する。効果の大きさをあらわす統計的指標である効果量について簡単に紹介する。	教科書2でこれまで行った検定法を復習しておくこと。(90分)	配布プリントを復習し宿題プリントを行うこと。(90分)
担当教員			

成績評価の方法

区分	割合(%)	内容
定期試験	0	定期試験は実施しない。
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	50	各講義中に提出する理解度確認テストの提出(15回)

<p>その他</p>	<p>50</p>	<p>各回ごとの宿題の提出(15回)</p>
<p>教科書</p>		
<p>1. 統計解析がわかる／涌井良幸, 涌井貞美／技術評論社 2. 4steps エクセル統計(第4版)／柳井久江／オーエムエス出版</p>		
<p>参考文献</p>		
<p>なし。</p>		
<p>履修条件・留意事項等</p>		
<p>特になし。</p>		
<p>備考欄</p>		
<p>特記事項なし。</p>		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		教養科目 外国語					
科目名		英語Ⅱ				ナンバリング	1171
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	演習	単位	1
担当教員	Walzem Allen George						
授業の位置づけ							
This is a basic to midlevel English Skills class. Students will practice, reinforce, and build on general English skills and vocabulary learned in “English I,” with a focus on spoken, daily life English.							
授業の概要							
本科目では、高等学校での学習を基に比較的まとまりのある英文を正しく、丁寧に読み取ることを目的に、発音、語彙、語法、慣用的表現の解説と訓練を行う。さらに、それらを用いて英語で自己表現することに慣れることを目的とする。							
到達目標							
Students will continue to practice normal, daily-life English skills needed for basic interpersonal communication. Focus will be on speaking, listening, and reading, and being able to describe basic things, ask and answer questions, explain and react appropriately, using good, clear, basic grammar constructions. Although the broad focus is general skills, attention will also be given to interacting with patients in a medical setting. (i.e. greeting patients, asking about their condition, giving instructions, etc.)							
授業の方法							
This is a lecture class where students will listen to the teacher’s instruction and do exercises from the textbook. Based upon the activity, student will engage in pair-work, groupwork as well as work individually on various tasks.							
ICT活用							
If needed, this class may utilize Google Classroom as a Learning Management System (LMS).							
実務経験のある教員の教育内容							

Not applicable			
課題に対するフィードバックの方法			
The teacher will give feedback by explaining the answers of the exercises, commenting on students' performance, and grading assignments.			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	Class intro, syllabus, first grammar pattern	Go over syllabus, semester 1 materials if needed (90 minutes)	Preview Unit 7, Part I, p60-64 (90 Min)
担当教員			
第2回	Unit 7 Part I p60-64: I'd love that job. Asking and answering questions about job skills. 20 questions for jobs game. Questions about job related stress and injuries.	Review unit 7 vocabulary and concepts (p60-64) (90minutes)	Please read and prepare Unit 7 Part II, p65-67 (90 Min)
担当教員			
第3回	Unit 7 Part II p65-67 : I'd love that job. Asking and answering questions about job skills. 20 questions for jobs game. Questions about job related stress and injuries.	Preview Unit 8, Part I, p6-72	Please read and prepare Unit 2, p.20-24 (90 Min)
担当教員			
第4回	. Unit 8 Part I, p68-72: Talking about opinions and making plans. Describing people and activities in present progressive tense.	Review unit 8 Part I, p68-72, vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare Unit Part II, p73-75 (90 Min)
担当教員			

第5回	Unit 8 Part II, p73-75: Talking about opinions and making plans. Describing people and activities in present progressive tense.	Review unit 8 part II (p73-75) vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare Unit 9, Part I, p76-80 (90 Min)
担当教員			
第6回	Unit 9 Part I p76-80 : What are you going to do? Future plans, including patient scheduling.	Review unit 9, p76-80 vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare Unit 9 Part II, p81-83 (90 Min)
担当教員			
第7回	Unit 9 Part II p81-83: What are you going to do? Future plans, including patient scheduling.	Prepare for midterm exam!! (as much time as you need)	Review vocab, grammar, concepts from Units 6-9 (as long as needed)
担当教員			
第8回	Midterm exam	Go over exam materials	Prepare for Unit 10, Part I, p.84-88
担当教員			
第9回	Unit 10 Part I, p84-88 : Using intensives and intensifier, comparing things (-er, est, etc.)	Review unit 10 p84-88 vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare Unit 10 part II, p89-91 (90 Min)
担当教員			
第10回	Unit 10 part II, p89-91 : Using intensives and intensifier, comparing things (-er, est, etc.)	Review unit 10 vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare Unit 11, Part I, p92-96 (90 Min)
担当教員			

第11回	Unit 11, Part I, p92-96 : Giving and following instructions. Telling a patient about exercise, therapy, or other activities.	Review unit 11 Part I, p92-96, vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare Unit 11, Part II, p97-99 (90 Min)
担当教員			
第12回	Unit 11, Part II, p97-99 : Giving and following instructions. Telling a patient about exercise, therapy, or other activities.	Review unit 11 vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare Unit 12, Part I, p100-104 (90 Min)
担当教員			
第13回	Unit 12, Part I, p100-104: Small talk about interests and activities, giving and receiving professional opinions.	Review unit 12 Part I (p100-104) vocabulary and concepts (90minutes)	Please read and prepare Unit 12, Part II, p105-107 (90 Min)
担当教員			
第14回	Unit 12, Part II, p105-107 : Small talk about interests and activities, giving and receiving professional opinions.	Review Units 10-12 thoroughly! Study notes given by teacher during classes, and especially during week 14! (2 or more hours!)	Prepare for final exam !!
担当教員			
第15回	Final exam	Be sure all assignments have been completed and given to the teacher	If you have any makeup work or late assignments, complete them and send to Professor Walzem
担当教員			

成績評価の方法

区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	Midterm 30 Final 40 Attendance and participation, quizzes 30

<p>その他</p>	<p>0</p>	
<p>教科書</p>		
<p>English Firsthand, Fifth Edition Written by March Helgesen, John Wiltshier, Steven Brown Published by Pearson 2018</p>		
<p>参考文献</p>		
<p>Handouts will be given in class</p>		
<p>履修条件・留意事項等</p>		
<p>Not applicable.</p>		
<p>備考欄</p>		
<p>Please bring textbook, pen or pencil, and paper to every class</p>		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		教養科目 外国語					
科目名		韓国語Ⅱ				ナンバリング	1189
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	演習	単位	1
担当教員	金 京室						
授業の位置づけ							
初年度教育の一環として、これから専門領域を学習する心構えを養うための科目である。							
授業の概要							
韓国語を学ぶ上で必要な、基礎的な文法や発音などを理解した上で、簡単な会話スキルを習得する。							
到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> ・韓国語の基礎的な読み・書きができる。 ・韓国語で簡単な会話ができる。 							
授業の方法							
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には、パワーポイントと配布印刷物を用いた方法で説明したのち、グループ学習を行う。 ・小テストを行い、理解度を確認する。 							
ICT活用							
なし							
実務経験のある教員の教育内容							

なし			
課題に対するフィードバックの方法			
課題に対し、授業中に口頭や実演にてフィードバックする。			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	オリエンテーション・第1～11課の復習 ・第1～11課の復習を行う	第1～11課の復習しておくこと (90分)	講義で配布した資料および教科書を復習する(90分)
担当教員			
第2回	第12課 なに学科ですかー所属と学年 ・疑問詞を使うことができる ・助詞の表現ができる	教科書p52-55を読んでおく(90分)	講義の資料および教科書p52-55を復習する(90分)
担当教員			
第3回	第13課 僕は音楽が好きです ・好みの表現ができる ・助詞の表現ができる	教科書p56-59を読んでおく(90分)	講義の資料および教科書p56-59を復習する(90分)
担当教員			
第4回	第14課 未来さんの携帯じゃありませんか ・指し示す言葉や所有・所属の表現ができる ・否定文が理解できる	教科書p60-63を読んでおく(90分)	講義の資料および教科書p60-63を復習する(90分)
担当教員			

第5回	第15課 彼女いますか？ ・存在表現ができる ・丁寧語・助詞の表現ができる	教科書p64-67を読んでおく、発音の練習をする(90分)	講義の資料および教科書p64-67を復習する(90分)
担当教員			
第6回	第16課 満では19です ・年齢を言うことができる ・助詞の表現ができる	教科書p68-73を読んでおく、発音の練習をする(90分)	講義の資料および教科書p68-73を復習する(90分)
担当教員			
第7回	第12-16課 まとめと復習 ・小テスト①	教科書p52-67を読んでおく、発音の練習をする(90分)	講義の資料および教科書p52-67を復習する(90分)
担当教員			
第8回	第17課 K-POPに大いに興味があります ・流音化・2重パッチムが理解できる ・助詞が表現できる	教科書p74-79を読んでおく、発音の練習をする(90分)	講義の資料および教科書p74-79を復習する(90分)
担当教員			
第9回	第18課 大学で習っています① ・否定表現ができる ・助詞が表現できる	教科書p80-87を読んでおく、発音の練習をする(90分)	講義の資料および教科書p80-87を復習する(90分)
担当教員			
第10回	第18課 大学で習っています② ・否定表現ができる ・助詞が表現できる ・逆接の接続語尾が表現できる	教科書p80-87を読んでおく、発音の練習をする(90分)	講義の資料および教科書p80-87を復習する(90分)
担当教員			

第11回	第19課 先週末何をしましたか ・過去形が理解できる ・行き来の目的を表す表現ができる	教科書p88-93を読んでおく、発音の練習をする(90分)	講義の資料および教科書p88-93を復習する(90分)
担当教員			
第12回	第20課 ソウルに旅行しようと思っています ・予定・つもりの表現ができる ・希望表現ができる	教科書p94-99を読んでおく、発音の練習をする(90分)	講義の資料および教科書p94-99を復習する(90分)
担当教員			
第13回	第17-20課 復習およびまとめ 小テスト②	教科書p74-99を読んでおく、発音の練習をする(90分)	講義の資料および教科書p74-99を復習する(90分)
担当教員			
第14回	韓国に行くならどこに行く？そこで何を食べる？グループ学習 ・韓国の旅行先についてグループで話し合い、予定を計画する ・計画を発表する	韓国の地理について予習する(90分)	講義の資料や発表資料を復習する(90分)
担当教員			
第15回	第1-20課のまとめと復習 小テスト③	教科書p1-99を読んでおく、発音の練習をする(90分)	講義の資料および教科書p1-99を復習する(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	筆記・口頭による復習テストで評価する(80%)・授業参加度(20%)	

<p>その他</p>	<p>0</p>	<p>なし</p>
<p>教科書</p>		
<p>コミュニケーション韓国語聞いて話そうⅠ 長谷川由起子 白帝社</p>		
<p>参考文献</p>		
<p>指定なし</p>		
<p>履修条件・留意事項等</p>		
<p>備考欄</p>		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		教養科目 外国語					
科目名		中国語Ⅱ				ナンバリング	1179
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	演習	単位	1
担当教員	野間 晃						
授業の位置づけ							
前期の入門中国語を前提として、中国語がどのような言語なのかを更に深くつかめるようにする。							
授業の概要							
この授業では、前期に引き続き中国語の発音をマスターすることと同時に、基本的な語彙や、すぐに役に立つ会話句をも紹介し、中国語学習に対する興味を養うことも目指す。							
到達目標							
中国語の発音と基本文型をさらによく理解し、日常生活に必要な単語を応用して、身近な場面で使う表現を習得できるようになる。							
授業の方法							
授業時間を半分ずつ、前回の内容の復習と今回の新しい内容にあてる。授業中に取ったノートの提出を、毎回授業終了時に求める。							
ICT活用							
中国語学習にとって有用なホームページ、ネット教材を紹介し、独学において役立てることができるようにする。							
実務経験のある教員の教育内容							

(なし)			
課題に対するフィードバックの方法			
毎回授業開始時に配られるノートを兼ねたプリントの答えを記入して授業終了後に提出し、次回に返却されたものを見ながら重要点を復習する。			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	オリエンテーション(授業の進め方・参考図書について) この講義における授業の進め方・評価の方法・習得できる内容が理解できるようになる。	中国語に関する知識の探索。(90分)	中国語学習の方向性認識。(90分)
担当教員			
第2回	前期の内容(発音・文法・語彙)の総復習。 後期の授業を始めるにあたり、必要な知識が分かるようになる。	前回の内容を復習し、授業の内容と進め方を把握しておく。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			
第3回	第11課 1. “了” 2. “了”の位置 3. “剛”があるとき:“了”は付けない “了”と“了”の位置と“剛”があるとき“了”は付けないことが理解できるようになる。	前回の授業で返却された提出物を再度読み、重点を復習する。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			
第4回	第12課 1. 変化を表す“了” 2. “過” 3. “一点儿也~” 4. “yihuir”の発音 変化を表す“了”と“過”と“一点儿也~”と“yihuir”の発音について理解できるようになる。	前回の授業で返却された提出物を再度読み、重点を復習する。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			

第5回	第13課 1. “在”+動詞+ (“呢”) 2. 過去のことで “了” がつかないとき “在”+動詞+ (“呢”) と過去のことで “了” がつかないとき が理解できるようになる。	前回の授業で返却された提出物を再度読み、重点を復習する。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			
第6回	第14課 1. 結果補語 2. 程度補語 3. “別～了” 結果補語と程度補語と “別～了” について理解できるようになる。	前回の授業で返却された提出物を再度読み、重点を復習する。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			
第7回	第15課 1. 動詞+ “着” 2. 存現文 3. “又～又～” 動詞+ “着” と存現文と “又～又～” について理解できるようになる。	前回の授業で返却された提出物を再度読み、重点を復習する。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			
第8回	第16課 1. 一致と類似を表す表現 2. “是～的” 3. “会～(的)” 4. “原来” 一致と類似を表す表現と “是～的” と “会～(的)” と “原来” について理解できるようになる。	前回の授業で返却された提出物を再度読み、重点を復習する。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			
第9回	第17課 1. 方向動詞 2. 方向補語 3. “把” 4. “应该” 方向動詞と方向補語と “把” と “应该” について理解できるようになる。	前回の授業で返却された提出物を再度読み、重点を復習する。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			
第10回	第18課 1. 可能補語 2. “虽然～但是～” 可能補語と “虽然～但是～” について理解できるようになる。	前回の授業で返却された提出物を再度読み、重点を復習する。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			

第11回	第19課 1. 様態補語 様態補語について理解できるようになる。	前回の授業で返却された提出物を再度読み、重点を復習する。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			
第12回	第20課 1. 受け身 2. “再”と“又” 受け身と“再”と“又”について理解できるようになる。	前回の授業で返却された提出物を再度読み、重点を復習する。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			
第13回	第21課 1. 使役 2. “讓我們～”“讓我～” 3. 同一の疑問詞の呼応 4. 疑問詞+“都” 使役と“讓我們～”“讓我～”と同一の疑問詞の呼応と疑問詞+“都”について理解できるようになる。	前回の授業で返却された提出物を再度読み、重点を復習する。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			
第14回	本文会話一覧 この教科書で学んだ会話練習の復習 会話で必要な表現について理解できるようになる。	前回の授業で返却された提出物を再度読み、重点を復習する。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			
第15回	まとめ 今学期の授業で学んだ内容の大綱が理解できるようになる。	前回の授業で返却された提出物を再度読み、重点を復習する。(90分)	返却された前回授業後の提出物により、重点を復習する。(90分)
担当教員			

成績評価の方法

区分	割合(%)	内容
定期試験	0	定期試験は行わない。
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	90	授業中に書き込んで終了後に提出するプリントを総合評価する。

<p>その他</p>	<p>10</p>	<p>授業態度が積極的な場合は加点する。</p>
<p>教科書</p>		
<p>複数の教科書を使用するが、受講者に購入は求めない。</p>		
<p>参考文献</p>		
<p>授業中に適宜指示する。</p>		
<p>履修条件・留意事項等</p>		
<p>遅刻は減点の対象になるので注意すること。 前期の中国語 I を履修しているか、中国語の基礎をマスターしていることを前提とする。</p>		
<p>備考欄</p>		
<p>なし。</p>		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		教養科目 スポーツと健康					
科目名		生涯スポーツⅡ				ナンバリング	1197
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	演習	単位	1
担当教員	平岡 英樹						
授業の位置づけ							
様々なスポーツについての理解と実践方法を学ぶための科目である。							
授業の概要							
参加者のレベルに応じて展開するスポーツ及び軽スポーツの方法論について、個々の学生がすでに修得しているスポーツの技術・技能レベルを基礎として、設備・用具等を含め、実践を通して考察する。とりわけ、北海道の自然環境を活かしたスポーツ活動を実際に行いながら、生活の中に運動に親しむ活動時間を定着させ、生涯にわたって、仲間とともにスポーツを継続できる知識と実践法を学ぶ。							
到達目標							
①スポーツ・運動することの楽しさや重要性を理解することができるようになる。 ②ルールやマナーを理解し、ゲームを通して仲間を尊重するところを育てることができるようになる。 ③日常生活において健康への意識を高め、体力の維持・増進を目指せるようになる。 ④生涯を通じて積極的に且つ楽しく、スポーツや運動に親しむ意識を持ち、それを習慣化できるようになる。							
授業の方法							
チーム(グループ)分けをし、ゲームを中心として進める。 ゲーム内容や勝敗をもとに、技術の習得やチームワーク等を確認する。							
ICT活用							
なし							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし			
課題に対するフィードバックの方法			
フィードバックとしては、ゲームによる個人技術の確認と評価			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	授業内容についてのガイダンス 授業内容の説明、受講上の注意事項、評価等について解説する。	シラバスで授業内容を確認する。(20分)	受講にあたっての注意事項等を確認する。(25分)
担当教員			
第2回	バドミントン・卓球(1) ゲーム(技術の応用・コンビネーションプレー)ーシングルス・ダブルスによるゲームを行う。	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめる。(25分)
担当教員			
第3回	バドミントン・卓球(2) ゲーム(技術の応用・コンビネーションプレー)ーシングルス・ダブルスによるゲームを行う。	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめる。(25分)
担当教員			
第4回	バレーボール(1) ゲーム(チームプレー)ー2人・3人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめる。(25分)
担当教員			

北海道文教大学 医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)

第5回	バレーボール(2) ゲーム(チームプレー)ー6人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめる。(25分)
担当教員			
第6回	バレーボール(3) ゲーム(チームプレー)ー6人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめる。(25分)
担当教員			
第7回	バスケットボール(1) ゲーム(技術の応用)ー個人・2人・3人のプレーがゲームで活用する。	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめる。(25分)
担当教員			
第8回	バスケットボール(2) ゲーム(チームプレー)ー個人・2人・3人・4人・5人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめる。(25分)
担当教員			
第9回	バスケットボール(3) ゲーム(チームプレー)ー個人・2人・3人・4人・5人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめる。(25分)
担当教員			
第10回	ニュースポーツ(1) 基礎技術を活用しゲームを行う	ニュースポーツにはどのような競技があるかかを調べる。(20分)	基本技術・ルールの確認。(25分)
担当教員			

第11回	ニュースポーツ(2) 基礎技術・コンピプレーを活用しゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめる。 (25分)
担当教員			
第12回	ニュースポーツ(3) 基礎・応用技術を活用しゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめる。 (25分)
担当教員			
第13回	ニュースポーツ(4) 基礎・応用技術を活用しゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめる。 (25分)
担当教員			
第14回	ニュースポーツ(5) 応用技術を活用しゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめる。 (25分)
担当教員			
第15回	ニュースポーツ(6) 応用技術を活用しゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	15回の授業を通し、生涯スポーツの意義や重要性についての考え、今後どのように生涯スポーツと関わっていくかをまとめる。 (25分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	実施しない	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	平常点80%(準備・片付け・受講態度など)、レポート等課題提出による評価20%	

その他	0	なし
教科書		
なし		
参考文献		
特になし、必要に応じて資料を配付		
履修条件・留意事項等		
ジャージ等の運動・スポーツに適した服装・スポーツシューズ(屋内用)を着用して受講すること 屋外で行う場合は屋外用のスポーツシューズを着用して受講すること 天候その他状況により種目が変更となる場合がある 積極的にプレーに参加すること		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		専門基礎科目 人体の構造と機能					
科目名		人体機能学Ⅱ				ナンバリング	2211
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	鹿内 あずさ、坂東 奈穂美、辻 幸美、小橋 拓真						
授業の位置づけ							
<p>本科目はディプロマポリシーの「健康状態やその変化に応じた看護に必要なとなる、科学的根拠に基づいた基本的な判断力・思考力・対象理解を高め、看護師としての実践能力を有した人材」育成につながる人体の構造を理解するために必要な基礎的知識を習得する。「人体構造学Ⅰ」と「人体機能学Ⅰ」をもとに、「人体構造学Ⅱ」と関連づけながら、生命を維持するために必要な日常生活行動における身体の働きを学習し、「看護病態治療学」につなげる。</p>							
授業の概要							
<p>本科目は、健康状態やその変化に応じた看護に必要な専門知識を習得するため、看護の視点から人体を系統立てて理解し、観察力や判断力を強化するため、看護の対象である人々の日常生活行動が継続され、生命が維持されるために必要な身体の働きを学ぶ。学習内容は、生命を維持するために必要な日常生活行動のうち「動く」「食べる」「息をする」「トイレに行く」「話す・聞く」「眠る」「お風呂に入る」「子どもを産む」の身体の働きについてである。</p>							
到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 生命維持に直結する(動く・食べる・息をする・トイレに行く・眠る)に必要な身体の兆候を説明できる。 2. 日常生活(動く・食べる・息をする・トイレに行く・話す・聞く)を営むための器官・臓器の働きを説明できる。 3. 日常生活(眠る・お風呂に入る・子どもを産む)を営むための器官・臓器の働きを説明できる。 							
授業の方法							
<p>教材(実際の測定機器)を用いグループでの演習を行う。授業内で小テスト(計8回)を行い、身体のはたらきについての知識を習得する。</p>							
ICT活用							
<p>Classroom及び、視聴覚教材を活用する。</p>							
実務経験のある教員の教育内容							

- ・医療機関、及び、訪問看護ステーションでの看護活動から生活と看護を結びつけて学べるように指導する(鹿内)。
- ・22年間の脳神経外科病院の勤務経験から生活と看護を結び付けられるように指導する(辻)。
- ・医療機関における勤務経験から生活と看護を学べるように指導する(坂東)。
- ・医療機関、及び、地域包括支援センター、社会福祉協議会での看護活動から生活と看護を結びつけて学べるように指導する(小橋)。

課題に対するフィードバックの方法

小テスト、及び、確認テストのフィードバックを行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	ガイダンス(鹿内) 動く①【演習】(坂東・鹿内・辻・小橋) 目標:人間の動き方の特徴に基づき、体外から確認できる骨や関節の動きについて、実際に確認できる 内容:体表から間接的に触れられる骨の位置を確認する。椅子に座る、しゃがむ、立ち上がる、食事をするなどの動作時に、どの関節がどの程度動いているのか、角度計で関節の可動域を測定してみる	教科書① p79～83, p.99を学習する。(60分)	教科書③ p.16-17を学習する。(90分)
担当教員	坂東 奈穂美、鹿内 あずさ、辻 幸美、小橋 拓真		
第2回	動く②【演習】(坂東・鹿内・辻・小橋) 目標:事例を通して、人間が動くとはどういうことなのかを説明できる 内容:1回目の事後学習の内容をもとに話し合う。風邪で3日間寝込んでしまったあと、身体がしっくりしないのはなぜか? 小テスト1	教科書①p.83～89, p.100～107を学習する。 教科書③ p.16-17の取り組んだ内容を振り返る。(60分)	グループワークでの学びを根拠にもとづいてノートにまとめる。(90分)
担当教員	坂東 奈穂美、鹿内 あずさ、辻 幸美、小橋 拓真		
第3回	息をする①【演習】(鹿内・坂東・辻・小橋) 目標:からだにとって息をすることは、酸素を体細胞に取り入れて、細胞内で酸化してエネルギーを作り出すこと(内呼吸・外呼吸)について説明できる。 内容:実際に肺活量を測定する。	教科書① p.127-135を読み、呼吸運動のしくみについて復習する。 教科書③p.42の呼吸のしくみについて学習する。(60分)	肺気量の名称を調べて、根拠にもとづいてノートにまとめる。(90分)
担当教員	坂東 奈穂美、鹿内 あずさ、辻 幸美、小橋 拓真		
第4回	息をする②【演習】(鹿内・坂東・辻・小橋) 目標:血液によるガス交換について説明できる。 内容:パルスオキシメーターを用いて酸素分圧を測定する。 小テスト2	教科書① p.135-137を読み、ガス交換のしくみについて復習する。 教科書③ p.43のガス交換のしくみについて学習する。(60分)	血液のガス交換の意味について、根拠にもとづいてノートにまとめる。(90分)
担当教員	坂東 奈穂美、鹿内 あずさ、辻 幸美、小橋 拓真		

第5回	<p>食べる【演習】(坂東・鹿内・辻・小橋) 目標:事例を通して,食べ物が胃まで到達するプロセスを説明できる 内容:むせ込むことがあるのはなぜか?</p>	<p>教科書①p.109-117を学習する 教科書③ p.36-37を学習する. (60分)</p>	<p>食べ物を胃まで到達するプロセスを,根拠にもとづいてノートにまとめる. (90分)</p>
担当教員	坂東 奈穂美、鹿内 あずさ、辻 幸美、小橋 拓真		
第6回	<p>栄養をとる【演習】(坂東・鹿内・辻・小橋) 目標:事例を通して,胃に入った食べ物が消化・吸収され,排便するまでのプロセスを説明できる 内容:なぜ便秘気味になるのか? or なぜ胃もたれが起きるのか? 小テスト3</p>	<p>教科書①p.118-126, p.149-153を読んで,自らの問題を明らかにしておく. 教科書③ p.39-41を学習する. (60分)</p>	<p>食べ物の消化・吸収・排便までのプロセスを,根拠にもとづいてノートにまとめる. (90分)</p>
担当教員	坂東 奈穂美、鹿内 あずさ、辻 幸美、小橋 拓真		
第7回	<p>尿をつくる【演習】(小橋・鹿内・辻・坂東) 学習のねらい:事例を通じて,尿をつくる過程や体液調整の仕組みを理解できる 事例:水分をたくさん摂っても,身体がむくまないのはなぜか</p>	<p>教科書① p.139-149を読んで,腎機能における理解を深めておく. 教科書③ p.47-48を学習する. (60分)</p>	<p>尿を作る過程や体液調整について,根拠にもとづいてノートにまとめる. (90分)</p>
担当教員	坂東 奈穂美、鹿内 あずさ、辻 幸美、小橋 拓真		
第8回	<p>尿意を感じてからトイレに行く【演習】(小橋・鹿内・辻・坂東) 目標:事例を通じて,尿意を感じて排尿するまでのメカニズムを理解できる. 事例:尿意を感じたとき,トイレまで我慢できるのはなぜか? 小テスト4</p>	<p>教科書① p.139-149を読んで,尿意や排尿における理解を深めておく. 教科書③ p.49-50を学習する. (60分)</p>	<p>尿意を感じて排尿するまでのメカニズムを,根拠にもとづいてノートにまとめる. (90分)</p>
担当教員	坂東 奈穂美、鹿内 あずさ、辻 幸美、小橋 拓真		
第9回	<p>話す・聞く【演習】(辻・鹿内・坂東・小橋) 学習内容:事例を通し,人が話して聞くことは,どのようなメカニズムなのか学習する. 行動目標:GWを通し,人が話して聞くということを説明できる. 小テスト5</p>	<p>教科書① p.155-161を読んで,GWに必要な意見を明らかにしておく 教科書③ p.51-54を学習する. (60分)</p>	<p>人が話してきくメカニズムを,根拠にもとづいてノートにまとめる. (90分)</p>
担当教員	坂東 奈穂美、鹿内 あずさ、辻 幸美、小橋 拓真		
第10回	<p>眠る①【演習】(辻・鹿内・坂東・小橋) 学習内容:事例を通し,人が眠るメカニズムを学習する. 行動目標:GWを通し,人が眠るというメカニズムを説明できる.</p>	<p>人が眠るとはどのようなことなのか考えGWに必要な意見を明らかにしておく 教科書③ p.56-59を学習する. (60分)</p>	<p>人が眠るメカニズムについて,根拠にもとづいてノートにまとめる. (90分)</p>
担当教員	坂東 奈穂美、鹿内 あずさ、辻 幸美、小橋 拓真		

第11回	眠る②【演習】(辻・鹿内・坂東・小橋) 学習内容:事例を通し,人は何のために眠るのか学習する. 行動目標:GWを通し,人に入眠はどうして必要なのか説明できる. 小テスト6	教科書① p.163-170を読んで, GWに必要な意見を明らかにしておく 教科書③ p.56-59を学習する. (60分)	人は何のために眠るのかについて, 根拠にもとづいてノートにまとめる. (90分)
担当教員	坂東 奈穂美、鹿内 あずさ、辻 幸美、小橋 拓真		
第12回	お風呂に入る【演習】(小橋・鹿内・辻・坂東) 学習のねらい:皮膚の清潔を保つ,温熱刺激をうけることで,身体にどのような効果をもたらすのかについて,理解できる 事例:入浴の効果にはどのようなものがあるのか.湯あたりとはどのようなことか. 小テスト7	教科書① p.171-177を読んで, 入浴の効果について理解を深めておく. 教科書③ p.60-63を学習する. (60分)	入浴の効果について,根拠に基づいてノートにまとめる. (90分)
担当教員	坂東 奈穂美、鹿内 あずさ、辻 幸美、小橋 拓真		
第13回	子どもを産む【演習】(鹿内・坂東・辻・小橋) 目標:女性のホルモンと月経周期について説明できる. 内容:生理前後の体温の変化とホルモンの関係について知識をもとに話し合う. 小テスト8	教科書① p.179-193を読んでく る. 教科書③ p.64-68を学習する. (60分)	女性のホルモンと月経周期について,根拠に基づいてノートにまとめる. (90分)
担当教員	坂東 奈穂美、鹿内 あずさ、辻 幸美、小橋 拓真		
第14回	外部環境とからだ【演習】(坂東・鹿内・辻・小橋) 目標:事例を通して,活動と休息のバランスをとりながら生命維持をしていることを説明できる 内容:夜型の生活が健康にどのような影響をおよぼすのか?一晩漬けの知識が定着しないのはなぜか?	教科書① p.195-203を読んで, 自らの問題を明らかにしておく. 教科書③ p.69-76を学習する. (60分)	活動と休息のバランスをとりながら生命を維持していることについて,根拠に基づいてノートにまとめる. (90分)
担当教員	坂東 奈穂美、鹿内 あずさ、辻 幸美、小橋 拓真		
第15回	確認テスト(鹿内・坂東・辻・小橋) まとめ:小テスト1~8のフィードバック・確認テストのフィードバック	1~14回の演習の復習をする. (60分)	まとめ,テストのフィードバックの内容を復習する.教科書③p.77-90を学習する. (90分)
担当教員	坂東 奈穂美、鹿内 あずさ、辻 幸美、小橋 拓真		
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	課題(事前学習)13回:16% 小テスト計8回:64%(各8%) 確認テスト1回:20%	

その他	0	なし
教科書		
① 菱沼典子:看護形態機能学 生活行動からみるからだ 第4版, 日本看護協会出版会 ② 佐藤達夫 監修:新版 からだの地図帳, 講談社 ③ 菱沼典子:看護形態機能学ワークブック 体験して考えるからだのいとなみ, 日本看護協会出版会		
参考文献		
① 林正健二:ナースングラフィカ人体の構造と機能 第4版, メディカ出版, 2021 ② 坂井建雄:系統看護学講座 専門基礎看護分野 人体の構造と機能[1]解剖生理学, 医学書院, 2022		
履修条件・留意事項等		
<ul style="list-style-type: none"> ・私語, 必要時以外の携帯の使用を禁止する ・学習は主体的に行う ・提出物と小テストは定期試験と同等に扱う 		
備考欄		
なし		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		専門基礎科目 人体の構造と機能					
科目名		人体構造学Ⅱ				ナンバリング	2203
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員		鹿内 あずさ、坂東 奈穂美、辻 幸美、小橋 拓真					
授業の位置づけ							
<p>本科目はディプロマポリシーの「健康状態やその変化に応じた看護に必要なとなる、科学的根拠に基づいた基本的な判断力・思考力・対象理解を高め、看護師としての実践能力を有した人材」育成につながる人体の構造を理解するために必要な基礎的知識を習得する。本科目は、「人体構造学Ⅰ」「人体機能学Ⅰ」をもとに、「人体機能学Ⅱ」と関連づけながら、日常生活行動における身体のしくみを学習し、「看護病態治療学」につなげる。</p>							
授業の概要							
<p>本科目は、健康状態やその変化に応じた看護に必要な専門知識を習得するため、看護の視点から人体を系統立てて理解し、観察力や判断力を強化するため、看護の対象である人々の日常生活行動が継続され、生命が維持されるために必要な身体の構造を学ぶ。学習内容は、生命を維持するために必要な日常生活行動のうち「動く」「食べる」「息をする」「トイレに行く」「話す・聞く」「眠る」「お風呂に入る」「子どもを産む」の身体のしくみについてである。</p>							
到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 日常生活の維持に関連する器官・臓器の位置を説明できる。 2. 日常生活(動く・食べる・息をする・トイレに行く・話す・聞く)を行うために必要な器官・臓器の仕組みの関連性が説明できる。 3. 日常生活(眠る・お風呂に入る・子どもを産む)を行うために必要な器官・臓器の仕組みの関連性が説明できる。 							
授業の方法							
PowerPoint と配布資料、視聴覚教材を用いて行う。講義毎に用語についての小テスト(計8回)を行い、知識を習得する。							
ICT活用							
Classroom及び、視聴覚教材を活用する。							
実務経験のある教員の教育内容							

- ・医療機関、及び、訪問看護ステーションでの看護活動から生活と看護を結びつけて学べるように指導する(鹿内)。
- ・22年間の脳神経外科病院の勤務経験から生活と看護を結び付けられるように指導する(辻)。
- ・医療機関における勤務経験から生活と看護を学べるように指導する(坂東)。
- ・医療機関、及び、地域包括支援センター、社会福祉協議会での看護活動から生活と看護を結びつけて学べるように指導する(小橋)。

課題に対するフィードバックの方法

小テスト、及び、確認テストのフィードバックを行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	ガイダンス(鹿内) 動く①【講義】(坂東・鹿内・辻・小橋) 姿勢(体位・構え・赤ちゃんが歩くまで・立位の保持)/ 骨格 / 関節	教科書② p.14-17, p.138-139, p.112-119, p.124-131, p147-P.149の骨の部分を読んでくる。 教科書③ p.32-34を学習する。(60分)	姿勢を保持すること、関節の可動域について、ノートにまとめる。(90分)
担当教員	坂東 奈穂美、鹿内 あずさ、辻 幸美、小橋 拓真		
第2回	動く②【講義】(坂東・鹿内・辻・小橋) 骨格筋/ 神経から筋への指令と筋の収縮/ 意図的でない運動(反射)/ 意図的な運動(随意運動) 小テスト1	教科書②p.112-116, p.119, p.124-125, p.131, p.140-145, p.150-151の筋肉の部分を読んでくる。 教科書③ p.12の「6」と、p.35を学習する。(60分)	身体が動くとは、どういうことなのかを説明できるように、ノートにまとめる。(90分)
担当教員	坂東 奈穂美、鹿内 あずさ、辻 幸美、小橋 拓真		
第3回	息をする①【講義】(鹿内・坂東・辻・小橋) 気道/ 呼吸運動/ 肺活量/ 支配神経/ ガス交換	教科書② p.32-33, p.38-39, p.52-59 の呼吸についての部分を読んでくる。 教科書③ p.42-46を学習する。(60分)	身体にとって息をすることは、どのようなことなのかについて、ノートにまとめる。(90分)
担当教員	坂東 奈穂美、鹿内 あずさ、辻 幸美、小橋 拓真		
第4回	息をする②【講義】(鹿内・坂東・辻・小橋) 外呼吸と内呼吸/ 血液によるガス交換 小テスト2	教科書② p.18-21, p.56-57,p.166-167, p.172-173 の呼吸の調節について学習する。(60分)	身体にとってのガス交換のメカニズムについて、ノートにまとめる。(90分)
担当教員	坂東 奈穂美、鹿内 あずさ、辻 幸美、小橋 拓真		

第5回	食べる【講義】(坂東・鹿内・辻・小橋) 食欲/摂食/嚥下(咀嚼し味わう, 飲み込む)/ 消化管の構造	教科書② p.34-39, Pp58-61, p.66-71を読んでくる。 教科書③ p.36-37を学習する。 (60分)	食べ物を見て、嚥下し、胃まで到達するまでの過程と、食道や胃と隣接する臓器について、ノートにまとめる。 (90分)
担当教員	坂東 奈穂美、鹿内 あずさ、辻 幸美、小橋 拓真		
第6回	栄養をとる【講義】(坂東・鹿内・辻・小橋) 何をどれだけ食べるか(消化液の分泌・栄養の吸収, 代謝)/ 便意を感じてトイレに行くまで(水分の吸収, 便の形成, 排便) 小テスト3	教科書② P.76-p.8,P.72-P.75を学習する。 教科書③ p.39-41を学習する。 (60分)	食べ物がどのように消化され、吸収され便を形成し、体外へと排出されるのかについて、ノートにまとめる。 (90分)
担当教員	坂東 奈穂美、鹿内 あずさ、辻 幸美、小橋 拓真		
第7回	尿をつくる【講義】(小橋・鹿内・辻・坂東) 尿をつくる仕組み(腎臓・尿管)/ 排尿・体液量調節の機能	教科書②p.88-91を学習する。人体構造学Ⅰと人体機能学Ⅰの体液調整について復習する。 教科書③ p.47-48を学習する。 (60分)	尿がどのように生成されるのか、体内の体液量はどのように調整されるのかについて、ノートにまとめる。 (90分)
担当教員	坂東 奈穂美、鹿内 あずさ、辻 幸美、小橋 拓真		
第8回	尿意を感じてからトイレに行く【講義】(小橋・鹿内・辻・坂東) 排尿のメカニズム(膀胱容量・支配神経と膀胱平滑筋・尿道括約筋) 小テスト4	教科書②p.92-93,p166-171を学習する。 教科書③ p.49-50を学習する。 (60分)	尿意はどのように生じて、体外へ排出されるのかについて、ノートにまとめる。 (90分)
担当教員	坂東 奈穂美、鹿内 あずさ、辻 幸美、小橋 拓真		
第9回	話す・聞く【講義】(辻・鹿内・坂東・小橋) 声を出す/話す/聞くしくみ 言葉・会話の理解/コミュニケーション 小テスト5	教科書① p.155-161を読んで、自ら問題点を学習する 教科書② p.18-21, p.24-25, p.30-31, p.38-39, p.166-169, 教科書③ p.51-54を学習する。 (60分)	問題の解決内容と本日の授業内容をノートにまとめ、人が話すことと聞くこととは、どのようなしくみなのか説明できるようにしておく。 (90分)
担当教員	坂東 奈穂美、鹿内 あずさ、辻 幸美、小橋 拓真		
第10回	眠る①【講義】(辻・鹿内・坂東・小橋) サーカディアンリズム/ノンレム睡眠とレム睡眠/ 人間は何故眠くなるのか/からだのリズム	教科書② p.166-169, p.20-21, 教科書① p.163~170を読んで、自ら問題点を学習する。 教科書③ p.56を学習する。 (60分)	問題の解決内容と本日の授業内容をノートにまとめ、人が眠るとは、どのようなしくみなのか説明できるようにしておく。 (90分)
担当教員	坂東 奈穂美、鹿内 あずさ、辻 幸美、小橋 拓真		

第11回	眠る②【講義】(辻・鹿内・坂東・小橋) 睡眠パターン 睡眠の主観的評価 小テスト6	教科書① p.163～170を読んで、 自ら問題点を学習する。 教科書③ p.58-59を学習する。 (60分)	問題の解決内容と本日の授業 内容をノートにまとめ、人が眠る とは、どのようなしくみなのか説明 できるようにしておく。 (90分)
担当教員	坂東 奈穂美、鹿内 あずさ、辻 幸美、小橋 拓真		
第12回	お風呂に入る【講義】(小橋、鹿内、辻、坂東) 皮膚／毛髪と爪／血管系・リンパ管／自律神経／垢を落とす・温まる(温点・冷点) 小テスト7	教科書② p.152-165, p.172-173を学習する。 教科書③ p.60-63を学習する。 (60分)	入浴することで、身体にどのような 効果をもたらすのか、について ノートにまとめる。 (90分)
担当教員	坂東 奈穂美、鹿内 あずさ、辻 幸美、小橋 拓真		
第13回	子どもを産む【講義】(鹿内・坂東・辻・小橋) 遺伝による男女・ホルモンによる男女(子宮・卵巣・精巣) 小テスト8	教科書② p.98-107を学習する。 教科書③ p.64-68を学習する。 (60分)	男と女の性、遺伝子、ホルモンによ って性分化する脳のしくみにつ いて、ノートにまとめる。 (90分)
担当教員	坂東 奈穂美、鹿内 あずさ、辻 幸美、小橋 拓真		
第14回	外部環境とからだ【講義】(坂東・鹿内・辻・小橋) 変化する環境の中で身体を維持し、くらすためのしくみ(ストレスとからだ、食べるための活動、エネルギーを貯蔵する、睡眠の役割、動くことの意味)	「食べる」「動く」「眠る」の事前学 習、教科書③ p.69-76「ストレス とからだ」を学習及び、これまで の授業内容を復習する。 (60分)	現代人のおかれている環境とから だのしくみについて考え、ノート にまとめる。 (90分)
担当教員	坂東 奈穂美、鹿内 あずさ、辻 幸美、小橋 拓真		
第15回	確認テスト(鹿内・坂東・辻・小橋) まとめ: 小テスト1～8のフィードバック・確認テストのフ ードバック	1～14回の講義の復習をする。 (60分)	まとめ、テストのフィードバックの 内容を復習する。 (90分)
担当教員	坂東 奈穂美、鹿内 あずさ、辻 幸美、小橋 拓真		
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし	
定期試験以外(授業内容の課題・ 参加度・出席態度等)	100	課題(事前学習)13回:16% 小テスト8回:64%(各8%) 確認テスト1回:20%	

その他	0	なし
教科書		
① 菱沼典子:看護形態機能学 生活行動からみるからだ 第4版, 日本看護協会出版会 ② 佐藤達夫 監修:新版 からだの地図帳, 講談社 ③ 菱沼典子:看護形態機能学ワークブック 体験して考えるからだのいとなみ, 日本看護協会出版会		
参考文献		
① 林正健二:ナースングラフィカ人体の構造と機能 第4版, メディカ出版, 2021 ② 坂井建雄:系統看護学講座 専門基礎看護分野 人体の構造と機能[1]解剖生理学, 医学書院, 2022		
履修条件・留意事項等		
<ul style="list-style-type: none"> ・私語, 必要時以外の携帯の使用を禁止する ・学習は主体的に行う ・提出物と小テストは定期試験と同等に扱う 		
備考欄		
なし		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		専門基礎科目 人体の構造と機能					
科目名		免疫学				ナンバリング	2258
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	1
担当教員	澤谷 啓行						
授業の位置づけ							
<p>本学ディプロマポリシーの「健康状態やその変化に応じた看護に必要となる、科学的根拠に基づいた判断力・思考力・対象理解力を高め、看護師としての実践能力を有している。(知識・技能)」を達成するために、疾病の原因および治療における基礎的な知識を身につける科目である。「臨床検査概論」「解剖学Ⅰ」「解剖学Ⅱ」「生理学Ⅰ」「生理学Ⅱ」と関連し、生体防御機構を習得するための科目である。看護の専門知識を活用して健康の状態やその変化に応じて実践する能力を身につける科目である。学習への主体性を有し、自律的な行動ができ専門職者として研鑽し続ける基本的な能力を身につけるための科目である。</p>							
授業の概要							
<p>免疫とは「生物学的自己」を病原微生物を主とする「非自己」から守るためのリンパ球を中心とした生体防御システムである。講義では免疫現象の基本的原理を学び、免疫とは何かを習得する。種々の疾病に関わる免疫現象を解説し、免疫機構の破綻によってもたらされる免疫関連疾患の種類と特徴を概説する。</p>							
到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> ・免疫とは何かがわかる。 ・感染症を起こす微生物の種類と特徴を挙げることができる。 ・常在細菌叢の種類と生体防御における役割について説明できる。 ・免疫担当細胞の種類と働きを説明できる。 ・免疫系の破綻によりもたらされる様々な免疫関連疾患について説明できる。 							
授業の方法							
<p>パワーポイントや印刷物を用いて説明する。 必要に応じて確認テストやレポート作成を行う。</p>							
ICT活用							
classroomの活用							
実務経験のある教員の教育内容							

病院勤務約15年間の経験(内科病棟・ICU・救急外来)と、感染管理分野の専門性を活かし、免疫について学生にイメージ化させられる。

課題に対するフィードバックの方法

講義中および講義後に質問を受け、次回の講義でフィードバックします。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	免疫の概念と種類・抗原 ・免疫獲得細胞や免疫システムを理解する。 ・身のまわりの微生物を理解する。 ・健康を脅かす病原微生物リスクについて理解する。	罹患したことがある感染症、興味のある病原微生物のまとめを行う。(90分)	免疫の概念や種類のまとめを行う。(90分)
担当教員			
第2回	抗体・免疫応答と免疫獲得細胞 ・免疫グロブリンの多様性を理解する。 ・感染症成立の要因(感染源、感染経路、感染宿主)を理解する。 ・感染予防の基本を理解する。	免疫グロブリンとは何かのまとめを行う。(90分)	抗体の種類、免疫応答の機序のまとめを行う。(90分)
担当教員			
第3回	免疫獲得器官と免疫獲得細胞 ・免疫に関与する組織を理解する。 ・リンパ球の種類と役割を理解する。	免疫担当器官のまとめを行う。(90分)	免疫獲得細胞のまとめを行う。(90分)
担当教員			
第4回	抗原抗体反応 ・抗原抗体反応を理解する。 ・補体および補体の関与する反応を理解する。	抗原抗体反応のまとめを行う。(90分)	補体の働きのまとめを行う。(90分)
担当教員			

第5回	アレルギー ・アレルギーの分類を理解する。 ・アレルギーの反応機構を理解する。	アレルギーとは何かのまとめを行う。(90分)	アレルギーの反応機構のまとめを行う。(90分)
担当教員			
第6回	感染に対する生体防御 ・日和見感染の種類や要因を理解する ・院内感染の種類や要因を理解する。	日和見感染、院内感染とは何かのまとめを行う。(90分)	日和見感染、院内感染の原因菌のまとめを行う。(90分)
担当教員			
第7回	感染に対する生体防御 ・肝炎ウイルス感染を理解する。 ・エイズウイルス感染を理解する。	ウイルスの定義のまとめを行う。(90分)	ウイルス感染症のまとめを行う。(90分)
担当教員			
第8回	自己免疫疾患 ・自己免疫疾患の発生機構を理解する。 ・各種の自己免疫疾患を理解する。 理解度確認のまとめのテストを行う。	自己免疫疾患の定義のまとめを行う。(90分)	自己免疫疾患のまとめを行う。(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	小テスト、まとめのテストの成績、レポートや欠席届等の提出物などで総合的に判断する。	
その他	0		
教科書			

なし
参考文献 講義中に紹介する。
履修条件・留意事項等 欠席した場合は欠席届を提出する。
備考欄

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		専門基礎科目 疾病の成り立ちと回復の促進					
科目名		メンタルヘルス				ナンバリング	2338
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	演習	単位	1
担当教員	藤村 恵理子、井上 仁美						
授業の位置づけ							
<p>ディプロマ・ポリシーの「健康状態やその変化に応じた看護に必要となる、科学的根拠に基づいた判断力・思考力・対象理解力を高め、看護師としての実践能力を有している」とことと特に関係がある科目である。また、「看護過程の展開や臨床判断に必要となる問題探求力・問題解決能力を有している」とも関係する科目である。教養科目の「心理学概論」と連携しており、「精神看護学の基礎」「精神看護学の展開Ⅰ・Ⅱ」に関連する科目である。</p>							
授業の概要							
<p>複雑・多様化する社会状況のなかで、医療や教育等の領域における対人援助には、ますます深い人間理解が求められている。この授業では、臨床心理学の基本的な理解の枠組みを学ぶことを通して、心理臨床的支援に関わる関係者との共通なベースを構築していくための手がかりを提供する。ここでは、主として、①臨床心理学の歴史と背景、②カウンセリングの理論と実際、③遊戯療法・音楽療法・家族療法に関する理論と実際について学習する。さらに、学習を深めていくために、ロールプレイ実習および臨床を跡づけていくための分析法の実習を組み入れて演習を進めていく。</p>							
到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床心理学の基本的な理論を学び、自己理解と他者理解について述べるができる 2. 人々が抱える様々なメンタルヘルスの現状を理解し、メンタルヘルスについて論じることができる 3. メンタルヘルスに関する基本的な知識を身につけ、メンタルヘルスを健康に保てるような具体的なアプローチを実践できる 							
授業の方法							
<p>授業担当者が作成した資料を受講生に配布し、PowerPointを用いて講義する。他にゲストスピーカーによる講義、グループによる体験学習、ディスカッションやプレゼンテーションなど多様な方法を通して授業を展開していく。学んだ知識の定着を促進するために授業開始時または終了前に確認テストを行いGoogle classroom(以下:GCとする)で指定した準備学習と事後学習を提出することで学びを深める。体験学習とゲストスピーカーの講義の後は自分の考えを課題レポートとして提出する。グループワークでの学習成果をプレゼンテーション(必要時スライドを使用)し、学びを共有すると共に振り返りをして理解を深める。</p>							
ICT活用							
<p>適宜メディア学習を取り入れる。レポート課題や事前学習・事後学習の提出、フィードバックはGCを用いた双方向授業を取り入れる。</p>							
実務経験のある教員の教育内容							

精神保健看護で看護師として実務経験のある教員が担当する。

課題に対するフィードバックの方法

授業の中とGCで行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	授業開始のガイダンス:授業の位置づけ、概要、目標方法、留意事項等についての説明を行う。 メンタルヘルスの概念を整理し、ストレスとはどのようなものか、心の健康について学習する。	シラバスを読んで授業の概要を把握しておくこと。自分が感じているストレスは何かを振り返ってみること(60分)	配布した資料の該当箇所をまとめたノートを作成し、GCに提出すること(90分)
担当教員	井上 仁美、藤村 恵理子		
第2回	臨床心理学の歴史と背景:ここではメンタルヘルスを臨床心理学の視点から学習していくための基礎的な知識を学習する。 臨床心理学とはどのような学問なのか、臨床心理学の成り立ちについて、臨床心理学の特徴や方法について理解する。	臨床心理学について自分なりに調べておくこと(90分)	配布した資料の該当箇所をまとめたノートを作成し、GCに提出すること(90分)
担当教員	井上 仁美、藤村 恵理子		
第3回	カウンセリングの理論と実践:精神分析学の創始者であるジークムント・フロイトによって提唱された精神分析に関わる理論を学習する。あわせてエリクソンやピアジェによる精神発達に関する理論についても理解を深める。	パーソナリティというキーワードについて調べておくこと(90分)	配布した資料の該当箇所をまとめたノートを作成し、GCに提出すること(90分)
担当教員	井上 仁美、藤村 恵理子		
第4回	カウンセリングの理論と実践:エリック・バーンによって提唱された交流分析について学習する。 実際にエゴグラムを用いて自身の心の状態を知り、自己理解を深める。	自己理解というキーワードについて整理しておくこと(90分)	配布した資料の該当箇所をまとめたノートを作成し、GCに提出すること(90分)
担当教員	井上 仁美、藤村 恵理子		

第5回	カウンセリングの理論と実践:カール・ロジャーズの来談者中心療法と認知行動療法の基本的な知識とアプローチの方法について学習する。	来談者中心療法と認知行動療法について調べておくこと(90分)	配布した資料の該当箇所をまとめたノートを作成し、GCに提出すること(90分)
担当教員	井上 仁美、藤村 恵理子		
第6回	カウンセリングの理論と実践:音楽療法と遊戯療法についての基本的な知識と方法について学習する。	音楽療法と遊戯療法について調べておくこと(90分)	配布した資料の該当箇所をまとめたノートを作成し、GCに提出すること(90分)
担当教員	井上 仁美、藤村 恵理子		
第7回	カウンセリングの理論と実践:家族療法についての基本的な考え方についてと支援のあり方について学習する。	家族療法について調べておくこと(90分)	配布した資料の該当箇所をまとめたノートを作成し、GCに提出すること(90分)
担当教員	井上 仁美、藤村 恵理子		
第8回	ゲストスピーカー:精神看護専門看護師による講義① 精神看護専門看護師の活動を知り、受講生が看護師としてのキャリアビジョンを見出すことができる。精神看護専門看護師としてのメンタルヘルスやメンタルヘルスケアについて理解する。	「専門看護師」、「リエゾン」について調べておくこと(90分)	課題に関するレポートを作成すること(90分)
担当教員	井上 仁美、藤村 恵理子		
第9回	ゲストスピーカー:精神看護専門看護師による講義② 病院で働く看護師や他職種について学び、地域におけるメンタルヘルスの現状とメンタルヘルスケアについて理解する。	授業中またはGCに提示する(90分)	課題に関するレポートを作成すること(90分)
担当教員	井上 仁美、藤村 恵理子		
第10回	ゲストスピーカー:精神看護専門看護師による講義③ 青年期に陥りやすい若年層の死因第一位である自殺の現状と対策について学習する。	授業中またはGCに提示する(90分)	課題に関するレポートを作成すること(90分)
担当教員	井上 仁美、藤村 恵理子		

第11回	心の健康を維持・増進するための方法について学ぶ。体のメカニズムを結びつけながら理解していく。	メンタルヘルス不調とリラクゼーションの関連についてを調べておくこと(90分)	配布した資料の該当箇所をまとめたノートを作成し、GCに提出すること(90分)
担当教員	井上 仁美、藤村 恵理子		
第12回	グループによる体験学習:心の健康を保持・増進するためのケアの実践では、アロマオイルを用いたハンドマッサージを体験する。個人で実施した後に受講生同士でも実施し合い、その効果や感想を発表する。	授業中またはGCに提示する(90分)	課題に関するレポートを作成すること(90分)
担当教員	井上 仁美、藤村 恵理子		
第13回	グループによる演習①:各グループでリラクゼーションの方法と効果について考え、プレゼンテーションに向けて話し合い、準備を行う。	各自リラクゼーションの方法について考えておくこと(90分)	各自リラクゼーションの方法と効果について整理しておくこと(90分)
担当教員	井上 仁美、藤村 恵理子		
第14回	グループによる演習②:各グループのリラクゼーションの方法と効果、実施してみた感想についてのプレゼンテーションとワークシートによる振り返りを行い、学び合う。	授業中またはGCに提示する(90分)	各グループのプレゼンテーション内容について整理しておくこと(90分)
担当教員	井上 仁美、藤村 恵理子		
第15回	グループによる演習③:各グループのリラクゼーションの方法と効果、実施してみた感想についてのプレゼンテーションとワークシートによる振り返りを行い、学び合う。	授業中またはGCに提示する(90分)	配布資料を読んでこれまでの学習のまとめを行うこと(90分)
担当教員	井上 仁美、藤村 恵理子		
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0		
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	確認テスト45%(5点満点×5回、10点満点×2回)、レポート35%(ゲストスピーカー講義;10点満点×3回、体験学習;5点満点×1)、グループワークの成果内容と発表、振り返りワークシート30%(30点満点×1)授業の回のレジュメによる予習または復習を手書きで作成してGCのフォームで提出した場合は、内容と量で1~3点を加算する。確認テストは授業開始時または終了前に実施する。テーマを設定してレポートを課す。	

<p>その他</p>	<p>0</p>	
<p>教科書</p>		
<p>教科書は使用しない。必要な資料は授業担当者が作成して、その都度配布する。</p>		
<p>参考文献</p>		
<p>適宜、授業やGCで紹介する。</p>		
<p>履修条件・留意事項等</p>		
<p>グループワークの取り組みが重視されるので積極的な参加が求められる。遅刻20分以上は欠席、3回の遅刻で1回の欠席になる。計15回のうち3分の1以上の欠席で単位認定ができない可能性がある。確認テストは遅刻、欠席をすると受けられないので0点となる。レポートや課題の期日迄の未提出も同様である。</p>		
<p>備考欄</p>		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		専門基礎科目 疾病の成り立ちと回復の促進					
科目名		薬理学				ナンバリング	2344
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	長多 好恵						
授業の位置づけ							
<p>本学DPにある「看護の専門知識を活用して健康の状態やその変化に応じて実践する能力を身に付けている」「学習への主体性を有し、自律的な行動ができ専門職者として研鑽し続ける基本的な能力を身につけている」を基に、医療に欠くことのできない薬物療法について、看護師として必要な知識を習得する。</p> <p>その上で以下について習得する科目である。</p> <p>①初年次教育の一つとして、医療職における薬と看護師の関わりを学びそれを踏まえて薬物の特性や体内での作用全般について習得する。</p> <p>②「解剖学」および「生理学」の学習を基礎として、薬物の知識を習得する。</p>							
授業の概要							
<p>①薬物は疾病の治療に必要不可欠である。看護師は患者が安全でかつ治療効果が最大限となるよう援助をすることが重要である。そのために必要な知識を学習する。</p> <p>②総論では、主として薬物の使用目的や作用パターン、体内動態について学習する。</p> <p>③各論では、疾患別薬物の薬理作用および副作用などについて学習する。</p>							
到達目標							
<p>①各規制医薬品について表示方法、保管方法について説明することができる。</p> <p>②投与された薬物が排泄されるまでの過程(体内動態)について説明することができる。</p> <p>③2種類以上の薬物あるいは食品と薬物間の服用で起こり得る薬物相互作用についての知識を得ることができる。</p> <p>④各疾患の成因・病態を理解し、薬物による治療効果や薬物の作用機序、副作用など薬物治療学的知識を習得し説明することができる。</p>							
授業の方法							
<p>パワーポイントと配布資料を用い、講義形式で解説する。理解度確認のための試験(8回目,15回目)、講義においては過去の国家試験問題も取り入れる。</p>							
ICT活用							
なし							
実務経験のある教員の教育内容							

大学での教育、病院、企業および調剤薬局においても薬剤師として勤務経験がある。これを活かして疾病に対する薬物治療や医薬品医療機器法による規制薬物などについて講義を行う。

課題に対するフィードバックの方法

講義内において確認問題を実施し、解答・解説により知識を整理する。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	薬理学総論Ⅰ ・薬の歴史的背景を学習する。 ・新薬が誕生するまでの道のりを学ぶ。 ・薬物療法における看護師の役割を理解する。	教科書第1章Aを読む(90分)。	講義時に配布した資料内容について復習する(90分)。
担当教員	長多 好恵		
第2回	薬理学総論Ⅱ ・薬の使用目的、主作用および有害作用について理解する。 ・処方箋、添付文書の形態を理解する。 ・薬の剤形、投与経路、規制医薬品について理解する。	教科書第1章A3-4, B1, C1, Fを読む(90分)	講義時に配布した資料内容について復習する(90分)。
担当教員	長多 好恵		
第3回	薬理学総論Ⅲ ・薬物の体内動態(吸収・分布・代謝・排泄)について理解する。 ・薬物の作用パターン(受容体・イオンチャネル・酵素・トランスポーター)について理解する。	教科書第1章B2, C2-5を読む(90分)。	講義時に配布した資料内容について復習する(90分)。
担当教員	長多 好恵		
第4回	薬理学総論Ⅳ ・薬効に影響する因子(薬用量・生物学的半減期・薬物の連用・年齢・薬物相互作用など)について理解する。	教科書第1章C6, D, Eを読む(90分)。	講義時に配布した資料内容について復習する(90分)。
担当教員	長多 好恵		

第5回	薬理学各論Ⅰ ・消化器系疾患治療薬について理解する(消化性潰瘍・消化不良・嘔吐・下痢・便秘のしくみを通して各治療薬を学習する)。 ・呼吸器系疾患治療薬を理解する。	教科書第5章、6章を読む(90分)。	講義時に配布した資料内容について復習する(90分)。
担当教員	長多 好恵		
第6回	薬理学各論Ⅱ ・代謝系疾患(糖尿病・脂質異常症・高尿酸血症)治療薬について理解する。 ・甲状腺ホルモン疾患とその関連薬について理解する。	教科書第8章C、9章を読む(90分)。	講義時に配布した資料内容について復習する(90分)。
担当教員	長多 好恵		
第7回	薬理学各論Ⅲ ・血液・造血器系疾患(貧血・血栓性疾患・出血性疾患)治療薬について理解する。 ・血液製剤について理解する。	教科書第4章を読む(90分)。	講義時に配布した資料内容について復習する(90分)。
担当教員	長多 好恵		
第8回	薬理学各論Ⅳ ・骨代謝関連薬について理解する。 ・第1～7回までの講義内容の理解度を確認するために試験を実施する。	・教科書第12章を読む(20分)。 ・第1回から7回までの復習をする(70分)。	講義時に配布した資料内容について復習する(90分)。
担当教員	長多 好恵		
第9回	薬理学各論Ⅴ-1 ・中枢神経系疾患(不眠症・統合失調症・不安障害・気分障害)治療薬について理解する。	教科書第15章A-Eを読む(90分)。	講義時に配布した資料内容について復習する(90分)。
担当教員	長多 好恵		
第10回	薬理学各論Ⅴ-2 ・中枢神経系疾患(てんかん・パーキンソン病・認知症)治療薬について理解する。	教科書第15章F-Gを読む(90分)。	講義時に配布した資料内容について復習する(90分)。
担当教員	長多 好恵		

第11回	薬理学各論VI ・自律神経系に作用する治療薬について理解する(自律神経系における神経伝達物質と受容体の関係を学習し、交感神経・副交感神経に作用する薬について理解する)。	教科書第2章を読む(90分)。	講義時に配布した資料内容について復習する(90分)。
担当教員	長多 好恵		
第12回	薬理学各論VII ・心臓血管系疾患(高血圧・虚血性心疾患・心不全・不整脈)治療薬について理解する。	教科書第3章を読む(90分)。	講義時に配布した資料内容について復習する(90分)。
担当教員	長多 好恵		
第13回	薬理学各論VIII ・抗感染症薬(抗菌薬・抗結核薬・抗真菌薬・抗ウイルス薬)について理解する。	教科書第13章を読む(90分)。	講義時に配布した資料内容について復習する(90分)。
担当教員	長多 好恵		
第14回	薬理学各論IX ・抗炎症薬(炎症のしくみを学習する)および解熱鎮痛薬、抗アレルギー薬について理解する。 ・消毒薬の分類、取り扱いについて理解する。	教科書第10章A、11章B、13章Gを読む(90分)。	講義時に配布した資料内容について復習する(90分)。
担当教員	長多 好恵		
第15回	薬理学各論X ・抗がん薬について理解する。 ・第9～14回までの講義内容の理解度を確認するために試験を実施する。	・教科書第14章を読む(20分) ・第9回から14回までの理解度確認テストのための復習をする。(70分)	講義時に配布した資料内容について復習する(90分)。
担当教員	長多 好恵		
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0		
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	講義8回目および15回目の試験、受講態度および欠席届の提出等により総合的に判断する。	

<p>その他</p>	<p>0</p>	
<p>教科書</p>		
<p>看護学テキスト 薬理学 南江堂</p>		
<p>参考文献</p>		
<p>参考テキストなどは講義の中で紹介する。</p>		
<p>履修条件・留意事項等</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・薬物の作用の前段階として解剖学・生理学について理解していることが重要である。 ・講義欠席の際は、欠席届を提出する。 		
<p>備考欄</p>		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		専門基礎科目 健康支援と社会保障制度					
科目名		関係法規				ナンバリング	2374
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	1
担当教員	佐藤 洋子						
授業の位置づけ							
<p>本科目は、ディプロマポリシー「医療・看護に関わる社会や時代の変化の本質を考究でき、豊かな人間性と高い倫理観、社会的責任を持ち、時代の変化に合わせて主体的に社会を支えることができる。(関心・意欲・態度)」また「グローバル化の進展を視野に入れつつ、科学的思考と創造的思考で生涯にわたって看護学と医療保健の質向上に貢献できる。(関心・意欲・態度)」に関係し、看護に関係した健康支援と社会保障制度について学ぶための基礎的知識を獲得するための科目として位置づけられる。看護職として看護を行う際の基盤となる看護職の資格・登録、医療に関する規定な祖、医療、保健、福祉の活動を規定している法規を理解するための科目である。</p>							
授業の概要							
<p>本科目は、学際的に看護職が質の高い看護を提供するために必要な諸法令を、看護職としての役割を正しく認識するための基本的な知識として学ぶ。学習内容は、看護法、医事法、保健衛生法等の法律の知識と諸法令と看護との関連である。</p>							
到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> 1.保健医療福祉に関する諸制度・諸法令の概要を説明できる。 2.看護師の業務範囲と看護師以外の医療職との法律上の業務の違いと協力関係について述べるができる。 3.医療過誤、チーム医療の在り方、医療制度の今後の変化など医療をめぐる問題について自ら考え、論じることができる。 							
授業の方法							
<p>授業方法はパワーポイントとハンドアウト、視聴覚教材(DVD)を用いた講義形式とする。理解を深めるため小テストを実施する。また、適宜レポートおよび課題を提示する。</p>							
ICT活用							
<p>Google Classroomを活用して、Quiz回答やレポート提出や準備学習・事後学習を行い自主学習を促す。</p>							
実務経験のある教員の教育内容							

本講義は実務の経験がある教員が授業を行う。

課題に対するフィードバックの方法

Quiz・小テスト・課題レポートを実施した後、解説を行います。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	ガイダンス(佐藤) シラバスに基づく科目の説明 1.法及び関連する規範の概念、法規範の特質	教科書などで、事前に該当部分を予習する(60分間程度)	講義内容をまとめ、疑問点は自己学習をすること。(90分)
担当教員	佐藤 洋子		
第2回	医療従事者の身分・制度 I-① 1.保健師助産師看護師法の概要 2.保健師助産師看護師の免許、業務、責任	教科書などで、事前に該当部分を予習する(60分間程度)	講義内容をまとめ、疑問点は自己学習をすること。(90分)
担当教員	佐藤 洋子		
第3回	医療従事者の身分・制度 I-① 1.保健師助産師看護師法の概要 2.保健師助産師看護師の免許、業務、責任	教科書などで、事前に該当部分を予習する(60分間程度)	講義内容をまとめ、疑問点は自己学習をすること。(90分)
担当教員	佐藤 洋子		
第4回	医療従事者の身分・制度 I-② 1.保健師助産師看護師の免許、業務、責任 2.その他の関連事項	教科書などで、事前に該当部分を予習する(60分間程度)	講義内容をまとめ、疑問点は自己学習をすること。(90分)
担当教員	佐藤 洋子		

第5回	医療従事者の身分・制度Ⅱ-① 1.医師法 2.医療従事者の身分・業務に関連する法規	教科書などで、事前に該当部分 を予習する(60分間程度)	講義内容をまとめ、疑問点は自 己学習をすること。(90分)
担当教員	佐藤 洋子		
第6回	医療従事者の身分・制度Ⅱ-② 1.薬事法 2.その他の法、制度	教科書などで、事前に該当部分 を予習する(60分間程度)	講義内容をまとめ、疑問点は自 己学習をすること。(90分)
担当教員	佐藤 洋子		
第7回	医療過誤と看護師の法的責任Ⅰ 1.民事、刑事、行政上の責任 2.医療に関連する裁判例の検討	教科書などで、事前に該当部分 を予習する(60分間程度)	講義内容をまとめ、疑問点は自 己学習をすること。(90分)
担当教員	佐藤 洋子		
第8回	医療事故と看護師の法的責任Ⅱ 1.患者の人権と法 2.医療とリスクマネジメント	教科書などで、事前に該当部分 を予習する(60分間程度)	講義内容をまとめ、疑問点は自 己学習をすること。(90分)
担当教員	佐藤 洋子		
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	実施しない	
定期試以外(授業内容の課題・ 参加度・出席態度等)	100	講義内での確認テスト・Quiz(60点) 課題1レポート:20点 課題2レポート:20点	
その他	0		
教科書			

田中幸子、野村洋子編 / 看護関係法規 看護職の責任と法的根拠を学ぶ / 南江堂

参考文献

履修条件・留意事項等

講義中は能動的な学修姿勢で臨むこと。
他学生の学びを妨げる行為は慎むこと。
講義中の私語は厳禁です。

備考欄

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		専門基礎科目 健康支援と社会保障制度					
科目名		生涯発達論				ナンバリング	2376
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	1
担当教員	辻 幸美、尾形 裕子、多賀 昌江、横山 佳世						
授業の位置づけ							
看護学科のディプロマポリシー「健康状態やその変化に応じた看護に必要な専門知識を習得するため、発達による変化や、発達に影響を及ぼす要因を理解し、人間の発達がどのように起こり得るかについて理解し、小児看護学、母性看護学、成人看護学、老年看護学において成長・発達の特徴と各ライフステージの課題を理解することで、今後の障害や疾患との結びつきを考える能力を養う。 母性看護学、小児看護学、成人看護学、老年看護学を学ぶ上での基礎となる。							
授業の概要							
本科目では、健康状態やその変化に応じた看護に必要な専門知識を習得するため、発達による変化や、発達に影響を及ぼす要因を理解し、人間の発達がどのように起こり得るかについて理解し、小児看護学、母性看護学、成人看護学、老年看護学において成長・発達の特徴と各ライフステージの課題を理解することで、今後の障害や疾患との結びつきを考える能力を養う。 (オムニバス方式/全8回) (多賀昌江/2回)ライフサイクルにおける女性の身体的発達と心理社会的発達を学ぶ。胎児期・新生児期の特徴と発達を学ぶ。 (横山佳世/2回)乳幼児期・学童期・思春期に当たる小児の身体的発達と心理・社会的発達を学ぶ。 (尾形裕子/2回)青年期と成人期の身体的特徴と心理・社会的発達を学ぶ。 (辻 幸美/2回)科目ガイダンスと老年期の身体的特徴と心理・社会的発達を学ぶ。							
到達目標							
1.人間を生涯発達の視点でとらえ、人間発達の共通性と特異性を理解する。 2.発達各期の特徴と発達課題を理解し、発達各期の健康問題を理解する。 3.胎児期から老年期までのライフサイクルにおける看護援助の視点を明らかにする。							
授業の方法							
板書、パワーポイントと配布印刷物(ハンドアウト)を用いて、講義形式ですすめる。グループワークでは、その内容について発表を行う。講義内容についての振り返り・質問・意見を記載するレスポンスカードを使用する場合もある。							
ICT活用							
Classroomを活用し課題提出やレスポンスとして使用する。							
実務経験のある教員の教育内容							

助産師経験(多賀)と看護師経験(尾形・横山・辻)を活かし、臨床現場の場面などから、看護の対象である人間の発達段階をよりリアルにイメージできるように教授する。

課題に対するフィードバックの方法

レスポンスカードへの質問・意見について解説する。
提出されたレポートは評価して返却する。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	ガイダンス:本科目概説とスケジュール・履修上の注意点を説明する。 発達とは何か、発達を理解するための視点、発達に影響を及ぼす因子、各発達段階に関する主な理論の概説を学ぶ。 ライフサイクルにおける女性の生涯発達 ライフサイクルにおける女性の健康と心身の特徴、ジェンダーについて学ぶ	第1章・第2章を熟読し、疑問点を明らかにしておく(45分) 教科書のp4-p57、p156-p215を読んで疑問点を明らかにしておくこと(45分)	教科書と配布資料を参考にし準備学習で出た問題点を解決できたか確認する。(45分) 講義資料を読み直し、教科書の関連ページ読んで理解すること(45分)
担当教員	多賀 昌江		
第2回	家族形成期の発達 親性の発達、家族形成期と家族の発達、胎児期・新生児期の特徴と発達について学ぶ	教科書のp64-p81を読んで疑問点を明らかにしておくこと(60分)	講義資料を読み直し、教科書の関連ページ読んで理解する。提示した課題レポートを作成する(120分)
担当教員	多賀 昌江		
第3回	乳幼児期の心と身体 ライフサイクルにおける小児期を学習する。 乳幼児期における身体的発達の特徴と評価、および心理・社会的側面の発達について学ぶ。	第4章p-83～p-118を精読し、疑問点を明らかにしておくこと。(60分)	教科書および配布資料を復習し事前学習での疑問点が理解できているか確認する。(60分)
担当教員	横山 佳世		
第4回	学童・思春期の心と身体 学童・思春期における身体的発達の特徴と心理・社会的側面の発達について学ぶ。学童・思春期における健康上の問題について学ぶ。	第5～6章p-121～p-187を精読し、疑問点を明らかにしておくこと。(60分)	教科書および配布資料を復習し事前学習での疑問点が理解できているか確認する。 小児期のレポートを作成する(120分)
担当教員	横山 佳世		

第5回	青年期の心と体 青年期及の機能・形態的側面の発達及び心理・社会的側面の発達についての特徴を学習する。これらの特徴から生じる健康上の問題や、発達に必要な支援を学ぶ。	第7章p192～218を読み、疑問点を明らかにしておく(90分)	本講の講義内容を復習し、提示した課題レポートを作成する(60分)
担当教員	尾形 裕子		
第6回	成人期の心と体 成人期の機能・形態的側面の発達及び心理・社会的側面の発達についての特徴を学習する。これらの特徴から生じる健康上の問題や、発達に必要な支援を学ぶ。	第8章p220～250を読み、疑問点を明らかにしておく(90分)	本講の講義内容を復習し、提示した課題レポートを作成する(120分)
担当教員	尾形 裕子		
第7回	老年期の発達 ライフサイクルにおける老いのイメージを明確化し、老年期の特徴と多様な老いを考える。 老年期の形態・機能的側面について学習する。	第9章p251～p256を熟読し、疑問点を明らかにしておく(90分)	教科書と配布資料を参考にし準備学習で出た問題点を解決できたか確認する。(90分)
担当教員	辻 幸美		
第8回	老年期の発達 老年期の心理・社会的側面からみた発達の特徴について学習する。 老年期の発達の評価と理論を基に発達課題を学習する。	第9章p256～p289を熟読し、疑問点を明らかにしておく(120分)	教科書と配布資料を参考にし準備学習で出た問題点を解決できたか確認する。 老年期のレポートを作成する。(120分)
担当教員	辻 幸美		

成績評価の方法

区分	割合(%)	内容
定期試験	0	なし
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	0	なし
その他	100	多賀、横山、尾形、辻:各レポート25点。 提出が遅れた場合は減点とする。 評価基準は各教員が提示する。

教科書

舟島なおみほか「看護のための人間発達学」医学書院

参考文献

必要時提示

履修条件・留意事項等

評価の対象となるものに対する不正行為、また不正と疑わしい行為は、D評価になる場合がある。

備考欄

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		専門基礎科目 健康支援と社会保障制度					
科目名		保健医療福祉行政論				ナンバリング	2382
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	1
担当教員	井上 仁美						
授業の位置づけ							
<p>看護学の理論や科学的根拠に基づき、人々の健康的な生活を支援するための基礎的知識を修得し、看護職に必要な健康支援と社会保障制度について学ぶ科目である。</p> <p>教養科目の「日本国憲法」「現代医療と福祉・介護」と関連し、専門基礎科目の「医療概論」「関係法規」「地域包括ケアシステム論」につながる科目である。</p> <p>DPの「地域で暮らす人々の健康や生活を支援するため、多様なケア環境に適した多職種連携・協働チームのあり方と看護師の役割を理解したうえでリーダー的な役割を担うことができる」と関連した科目である。</p>							
授業の概要							
<p>わが国では、少子高齢化、多死社会に向かっており、保健・医療・福祉領域において、地域での支援システムやネットワークの確立が不可欠になっている。そのため、看護職が社会福祉領域と協働して活動することが重要な課題となっている。保健医療福祉行政の基礎となっている日本国憲法をふまえて、社会福祉・社会保障の理念、および、看護活動に必要な様々な制度を学ぶ</p>							
到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> 健康に関する指標として、人口静態・人口動態および 受療行動などの統計について説明できる。 保健医療福祉行政の根拠と公衆衛生の定義を説明できる。 わが国の社会保障制度の考え方について説明できる。 わが国のセーフティネットの種類と仕組みについて説明できる。 わが国の医療保険制度と課題について説明できる。 わが国の介護保険制度を含めた高齢者を対象とした社会保障・福祉制度の仕組みと課題について説明できる。 わが国の障害者施策の概要と課題について説明できる。 わが国の年金制度と課題について説明できる。 							
授業の方法							
<p>講義は指定しているテキストを主に使用して行う。学生は本科目用にノートを一冊準備し、講義内容をノートにまとめる。ノートを準備学習・事後学習として作成し提出することで継続的な学習習慣を確立する。講義内容は次回の講義で確認テストを実施することで、必要な知識を定着する。</p>							
ICT活用							
<p>Google Classroom(以下、GC)に準備学習・事後学習を提示し、課題を提出することで自主学習の支援を行う。</p>							
実務経験のある教員の教育内容							

本科目は看護師として実務経験のある教員が担当する。

課題に対するフィードバックの方法

準備学習および事後課題や時間内に実施する確認テストについては、講義時間内またはGCでフィードバックを行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	ガイダンス わが国の保健統計 ・わが国の人口動態・人口静態について学ぶ ・死因統計および疾病統計について学ぶ	テキストP.38～65をよく読んで重要なところに下線を引く(90分)。	第2回講義で確認テストを実施するため、ノートを作成し復習する。Google フォームの課題に回答する【5点】(90分)。
担当教員			
第2回	公衆衛生と疫学・統計【確認テスト5点;第1回目の内容】 ・公衆衛生と健康の概念について学習する ・公衆衛生の歴史について学ぶ	テキストP. 2～37までを読んで重要な箇所に下線を引く(90分)。	第3回講義で確認テストを実施するため、講義内容についてノートを作成し復習する(90分)。
担当教員			
第3回	医療と社会【確認テスト10点;第2回目の内容】 ・医の倫理と患者の人権について学ぶ ・医療の質と安全の確保について学習する	テキストP.66～73、116～123を読んで重要な箇所に下線を引く(90分)。	第4回講義で確認テストを実施するため、ノートを作成し確認テストの準備をする(90分)。
担当教員			
第4回	社会保障と医療経済【確認テスト10点;第3回目の内容】 ・社会保障制度、年金制度、生活保護、社会福祉について学習する	テキストP.152～159を読んで重要な箇所に下線を引く(90分)。	第5回講義で確認テストを実施するため、ノートを作成し確認テストの準備をする(90分)。
担当教員			

第5回	わが国の医療保障制度と国民医療費【確認テスト10点;第4回目内容】 ・医療保険と保険診療の仕組みについて学習する	テキストP.160～171をよく読んで重要なところに下線を引く(90分)。	第6回講義で確認テストを実施するため、ノートを作成し確認テストの準備をする(90分)。
担当教員			
第6回	成人保健と健康の増進、感染症対策【確認テスト10点;第5回目内容】 ・健康増進のための諸制度について学習する ・感染症対策について学ぶ	テキストP.172～199、276～313を読んで重要な箇所に下線を引く(90分)。	第7回講義で確認テストを実施するため、ノートを作成し確認テストの準備をする(90分)。
担当教員			
第7回	高齢者保健福祉【確認テスト10点;第6回目内容】 ・老人福祉法、介護保険法など的高齢者に関する保健医療福祉制度とその問題点について学習する	テキストP. 230～253をよく読んで重要なところに下線を引く(90分)。	第8回講義で確認テストを実施するため、ノートを作成し確認テストの準備をする(90分)。
担当教員			
第8回	障害者福祉【講義の最初に第7回講義の内容の確認テスト5点、講義の終了前に第8回講義の内容の確認テスト5点】 ・疾病・障害の概念について学ぶ ・障害者の福祉施策を学習する	テキストP.254～271をよく読んで重要なところに下線を引く(90分)。	指定されたテーマでレポートを作成し提出する(90分)。
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0		
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	確認テストは講義時間内に配布した資料、テキストと自分が作成したノートの持ち込みのみ可とする。スマホやパソコンの使用は認めない。テキストやノートを忘れた場合も再配布はしない。他の学生からの貸し借りは認めない。授業を欠席した場合(公欠含む)は、次回の講義時間前に教員の研究室(6階)まで取りに来た場合のみ配布する。教室内では配布しない。確認テストがある授業で欠席した場合はその回のテストは0点となるが、公欠をした場合の代替	
その他	0		
教科書			

『公衆衛生がみえる2022-2023 第5版』安藤雄一他 メディックメディア
本科目はレジュメ等はほとんど配布せず、教科書にそって講義を行うため、第1回講義までに必ず教科書を購入しておくこと。

参考文献

適宜、配布または指示する。

履修条件・留意事項等

毎回、必ず出席を取るため、遅刻・欠席がないようにすること。遅刻が20分を超える場合は欠席となる。
遅刻3回で1回の欠席とする(看護学科申し合わせ事項)。計8回のうち、3分の1以上の欠席で単位認定をしないことがある。
欠席および遅刻をした場合は、その回の確認テスト(10点)が0点となる。配点が大きいので注意すること。
総合点で60点に満たない場合はDHの対象者となり再試を実施する。
私語は厳禁とする。授業時間中にやむを得ない理由以外で席を立たないこと。

備考欄

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		専門科目 基礎看護学					
科目名		看護理論				ナンバリング	3428
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	1
担当教員	藤長 すが子						
授業の位置づけ							
<p>ディプロマポリシーである「健康状態やその変化に応じた看護に必要な、科学的根拠に基づいた判断力・思考力・対象理解力を高め看護師としての実践能力を有している」ことを中心に展開する。1学年前期の「看護学の基礎」を踏まえ、理論と実践の関りについて学びを深める看護学の基礎となる科目であり、今後展開される各看護学の土台となる。</p>							
授業の概要							
<p>健康状態やその変化に応じた看護に必要な専門知識を修得するため、代表的な看護理論のメタパラダイムや理論内容を理解し、看護の本質を考える基礎的能力を養う。1年前期の「看護学の基礎」を踏まえ、看護理論家の理論構築の過程など理論学習に必要な概念や理論内容を学習し、理論と看護実践との関わりを学習する</p>							
到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 理論とは何かについて説明できる 2. 看護理論の歴史的変遷と発展の過程を述べることができる 3. 理論構築の過程と代表的な看護理論の特徴を説明できる 4. 代表的な理論家の書籍を活用し、看護理論と看護実践の関連と活用について自らの考えを述べることができる 							
授業の方法							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 講義形式: パワーポイントと配布資料を用いる 2. グループディスカッション: 課題内容をもとにグループディスカッションを行う(全3回) 3. プレゼンテーション: グループディスカッションした内容をもとに資料を作成し、プレゼンテーションを行う(授業2回とGoogle Classroom活用) 4. Google Classroomを用いて、事前課題を提示する 5. 課題学習ノートと振り返りにはGoogle ClassroomとFormsを用いる 							
ICT活用							
<p>Google Classroomによる課題提示、課題提出、課題内容の確認、プレゼンテーション、フィードバックを行う 質問・疑問については、Formsを活用する インターネットによる動画活用</p>							
実務経験のある教員の教育内容							

看護師としての病院勤務経験と大学での教育経験をもとに、看護理論の看護実践への適応について事例を提示しながら教授する

課題に対するフィードバックの方法

授業に関する疑問・質問についてはGoogle Classroomまたは、次回の講義の際に説明をする
発表に向けた準備および発表時における助言を行う

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	【講義1】 理論の定義 理論の種類 看護理論の実践への応用	教科書1, p2-13を読みわからない用語などを調べる(90分)	理論のクリティークの要素について具体的に調べまとめる(90分)
担当教員			
第2回	【講義2】 看護理論の歴史の変遷 看護理論構築過程 主たる看護理論の特徴	教科書1, p14-17を読みまとめる(90分)	代表的な理論家の理論をレポートする(90分)
担当教員			
第3回	【グループディスカッション1】 F.ナイチンゲールまたはV.ヘンダーソンについて、理論家の背景、主要概念の定義、看護実践における活用についてグループワークをする	看護の主要概念について、「看護学の基礎」で学習した内容を再確認する。理論家の背景について調べる(90分)	F.ナイチンゲールまたはV.ヘンダーソンの主要概念の定義についてまとめる(90分)
担当教員			
第4回	【グループディスカッション2】 F.ナイチンゲールまたはV.ヘンダーソンについて、理論家の背景、主要概念の定義、看護実践における活用についてグループワークをする	各自が担当した教科書2または3の各章を読む 各自が担当した理論の内容について文献やインターネットを用いて調べる(90分)	各自が担当した理論の内容について、グループワークを通じて出た疑問点などを文献やインターネットを用いて調べる(90分)
担当教員			

第5回	【グループディスカッション3】 F. ナイチンゲールまたはV. ヘンダーソンについて、理論家の背景、主要概念の定義、看護実践における活用についてグループワークをする	各自が担当した理論の内容について文献やインターネットを用いて調べる(90分)	グループディスカッションでまとめた内容を確認し、疑問点などを調べる 発表に向けた準備をする(90分)
担当教員			
第6回	【プレゼンテーション1】 F. ナイチンゲールまたはV. ヘンダーソンについて、理論家の背景、主要概念の定義、看護実践における活用について発表をする	パワーポイントによるプレゼンテーションの準備をする 各グループの発表資料を読み疑問点を調べる(90分)	各グループの発表内容についてまとめる(90分)
担当教員			
第7回	【プレゼンテーション2】 F. ナイチンゲールまたはV. ヘンダーソンについて、理論家の背景、主要概念の定義、看護実践における活用について発表をする	パワーポイントによるプレゼンテーションの準備をする 各グループの発表資料を読み疑問点を調べる(90分)	各グループの発表内容についてまとめる(90分)
担当教員			
第8回	【講義3・確認テスト】 発表の総評とまとめ 確認テスト	これまでの講義資料やプレゼンテーション資料などに記載されている内容の復習をする(90分)	看護理論の実践への応用についてレポートする(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0		
定期試以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	25% 確認テスト 10% GW評価:グループワークへの参加・貢献度 20% 課題提出状況とその内容充実度(事前学習内容含) 20% プレゼンテーション 25% 最終レポート	
その他	0		
教科書			

1. 筒井真優美(2019). 看護理論 看護理論21の理解と実践への応用, 改定第3版. 南江堂.
2. フローレンス・ナイチンゲール, 小玉香津子, 尾田葉子訳(2019). 看護覚え書き 本当の看護とそうでない看護. 日本看護協会出版会.
3. ヴァージニア・ヘンダーソン, 湯楨ます・小玉香津子訳(2016). 看護の基本となるもの. 日本看護協会出版会.

参考文献

授業の中で適宜参考文献を紹介する

履修条件・留意事項等

全授業時間数の3分の2以上の出席をもって評価対象とする
評価対象物において代筆や盗用などの不正行為があった場合には、D判定となる場合がある

備考欄

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		専門科目 基礎看護学					
科目名		看護倫理				ナンバリング	3422
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	1
担当教員	藤長 すが子						
授業の位置づけ							
<p>本科目は、ディプロマポリシーである「健康状態やその変化に応じた看護に必要となる、科学的根拠に基づいた判断力・思考力・対象理解力を高め看護師としての実践能力を有している」ことを中心に展開する。看護実践者としての基盤となる科目であり、1学年前期の「看護学の基礎」で学んだことを踏まえ、その後に行われる専門科目で発展的に展開される位置づけにある</p>							
授業の概要							
<p>健康状態やその変化に応じた看護に必要な専門知識を修得するため、生命倫理に関する基本的な考え方に立ち、看護として重要なアドボカシーやインフォームドコンセント、秘密保持など看護実践における倫理的概念を理解する。また、看護倫理の歴史的変遷を踏まえながら看護実践のひとつのあり方としてのケアの倫理について考える。看護者としての基本的な姿勢と看護専門職の役割を理解し、臨床における倫理的な場面に気づき、意思決定プロセスの基礎を養う</p>							
到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護倫理とは何かが説明できる 2. 看護職の倫理綱領の目的、概要について説明できる 3. 看護実践における倫理の必要性について述べることができる 4. 事例をもとに倫理的意思決定プロセスについて述べるができる 							
授業の方法							
<ol style="list-style-type: none"> 1. パワーポイントと配布資料を用いた講義形式 2. グループディスカッション 3. 課題学習ノートとリフレクションカードの活用 4. Google ClassroomとFormsの活用 							
ICT活用							
<p>Google ClassroomおよびFormsを活用しての課題提出や説明を行う 看護職の倫理綱領については、日本看護協会のホームページ等を活用する</p>							
実務経験のある教員の教育内容							

看護師としての病院勤務経験と看護教育の経験をもとに、基本的な考え方を具体的な事例を用いて教授する

課題に対するフィードバックの方法

毎回授業終了時に授業内容に関する疑問、質問をFormsなどで受けつけ、次回講義時にフィードバックする
提出された課題には、必要時コメントをつけて返却する
必要時、Google Classroomを用いてコメントを返却する

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	【講義1】 コースオリエンテーション 倫理とは 倫理と法、道徳の違い 倫理原則	教科書1p2-6、p35-41を読みまとめる。わからない用語は事前に調べる(90分)	倫理原則の問題点について整理する(90分)
担当教員			
第2回	【講義2】 看護倫理とは 看護倫理の歴史的推移	教科書1p11-21を読みまとめる。わからない用語は事前に調べる(90分)	看護倫理の意義についてレポートする(90分)
担当教員			
第3回	【講義3】 専門職と倫理 看護職の倫理綱領	教科書1p76-79を読みまとめる。看護職の倫理綱領について調べる(90分)	看護職の倫理綱領の内容に具体的な説明を加え整理する(90分)
担当教員			
第4回	【講義4】 看護活動と倫理1 ・守秘義務 ・アドボカシー ・パターナリズム ・インフォームド・コンセント	教科書1p88-92、p98-102、p115-121、p122-129を読みまとめる(90分)	看護援助実施の際のインフォームド・コンセントについて考える(90分)
担当教員			

第5回	【講義5】 看護活動と倫理2 ・再生医療 ・性と生殖をめぐる看護と倫理 ・終末期医療と倫理 ・異文化間の看護と倫理	教科書1p177-196を読みまとめる(90分)	看護活動における倫理的課題について整理する(90分)
担当教員			
第6回	【グループディスカッション1】 倫理的意思決定のプロセス1 事例のケアについて、グループディスカッションを通じて倫理的意思決定について考える	事例を読み、倫理的課題について考える(90分)	グループディスカッションした内容から、自分の考えをまとめる(90分)
担当教員			
第7回	【グループディスカッション2】 倫理的意思決定のプロセス2 事例のケアについて、グループディスカッションを通じて倫理的意思決定について考える 自己の倫理観についてまとめる	事例を読み、倫理的課題と倫理的意思決定について考える(90分)	グループディスカッションした内容を基に、事例の倫理的意思決定プロセスの妥当性について整理する(90分)
担当教員			
第8回	【講義6・確認テスト】 確認テスト まとめ	これまでの講義ノートの内容を復習する(90分)	看護活動における倫理の必要性についてまとめる(90分)
担当教員			

成績評価の方法

区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	30% 確認テスト 40% 課題提出と課題の達成度(事前学習内容含) 10% グループディスカッションにおける参加状況 20% 最終レポート提出状況と内容
その他	0	

教科書

1. 小西恵美子編集(2021).看護倫理 よい看護・よい看護師へのみちしるべ. 改定第3版. 南江堂.
2. 宮脇美保子(2021).新体系看護学全書 基礎看護学1 看護学概論 メヂカルフレンド社.

参考文献

授業の中で適宜参考文献を紹介する

履修条件・留意事項等

- ・全授業時間数の3分の2以上の出席をもって評価対象とする
- ・評価対象物において代筆や盗用などの不正行為があった場合には、D判定となる場合がある

備考欄

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		専門科目 基礎看護学					
科目名		日常生活援助技術 I (2組)				ナンバリング	3411
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	演習	単位	1
担当教員	竹之内 優美、木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、渡辺 一代、赤坂 浩子						
授業の位置づけ							
<p>本科目は、看護学科のディプロマポリシーの中でも特に「健康状態やその変化に応じた看護に必要な科学的根拠に基づいた判断力・思考力・対象理解力を高め、看護師としての実践能力を有している。(知識・技能)」に関連した科目である。本科目を学ぶことにより、人々の健康的な生活を支援するための基礎的知識・技術を獲得すると共に、状況に合わせた判断やコミュニケーションおよび自己の看護実践を客観的に評価するための基礎的能力を養うことにもつながる。また本科目は、1年次前期に開講される各専門基礎科目や専門科目「看護学概論」・「共通看護援助技術」での学びを基盤としており、さらに「日常生活援助技術Ⅱ」をはじめとする各専門科目を学ぶうえでの基礎となる。</p>							
授業の概要							
<p>科学的根拠に基づいた基本的な判断力・思考力を用いた実践能力を養うため、看護の対象である人間の活動と休息のバランス、清潔と衣生活についての概念や技術理論を学ぶ。また、対象者の日常生活動作と活動の拡大、休息への援助方法、清潔と衣生活に関連した援助技術を理解する。加えて、活動援助及び清潔・衣生活への援助の技術を習得する。</p>							
到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間にとっての活動・休息の意義を理解し、健康的な生活を送るために必要な活動・休息に関する看護を実践するための基礎的知識を説明できる。 2. 人間にとっての清潔・衣生活の意義を理解し、健康的な生活を送るために必要な清潔・衣生活に関する看護を実践するための基礎的知識を説明できる。 3. 原理・原則に基づき、活動および清潔・衣生活の援助に関する基本的な看護技術を実施できる。 4. 看護援助の際に、実施前・中・後の対象者の反応を観察できる。 5. 看護援助後の振り返りを通し、対象者にとっての安全・安楽・自立(自律)性の視点から看護について考えたことを述べることができる。 							
授業の方法							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 講義: パワーポイントと配布資料および必要に応じて動画視聴を用いて説明する。 2. 演習: 講義後に学生間で患者役・看護師役になり、基本的な看護援助を実践する。また、実施後は、対象者の安全・安楽・自立性の視点から看護援助についてグループでディスカッションを行う。 							
ICT活用							
<p>Google Formのアンケート機能を用いて双方向授業を取り入れる。</p>							
実務経験のある教員の教育内容							

看護師として病院勤務を有する各教員が臨床経験を活かし、日常生活援助技術を教授する。

課題に対するフィードバックの方法

1. 講義に関連した課題については、講義の中で全体へのフィードバックを行う。
2. 演習記録に関しては、コメントを記載し返却する、または全体へのフィードバックを行う。
3. 小テストおよび科目確認テスト実施後に、解答の解説を行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	<p>【コースガイドンス】</p> <p>【講義】活動と休息の援助① 人間にとっての活動・休息の意義と看護実践に必要な活動・休息のアセスメントの視点を学ぶ。 1)活動・休息の意義 2)休息・睡眠のアセスメントの視点 3)睡眠・休息の援助</p>	教科書Ⅱp105-109およびp.141-147を熟読する【30分】	学習した講義内容を復習する【45分】
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第2回	<p>【講義】活動と休息の援助② 活動と休息に関する看護技術の基礎的知識を学ぶ。 1)活動・運動のアセスメントの視点 2)活動の援助(関節可動域運動) 3)移動の援助(歩行・車いす・ストレッチャー) 【小テスト(10点)】</p>	教科書Ⅱp.109-116およびp.129-141を熟読する【45分】	学習した講義内容を復習する【45分】
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第3回	<p>【演習】対象者の状況に合わせた歩行の援助技術 歩行用具の使用体験および歩行の援助を実践し、それを基にグループでディスカッションを行うことによって看護の学びを深める。 1)歩行用具を使用した歩行体験(杖・歩行器) 2)歩行の援助</p>	演習要項の熟読 看護技術に関するテキストの熟読および動画視聴【45分】	演習の実施記録を整理する【45分】
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第4回	<p>【演習】離床のための援助技術 離床の援助に関する基本的な看護技術を実践し、それを基にグループでディスカッションを行うことによって看護の学びを深める。 1)移乗の援助(椅子・車いす・ストレッチャー)</p>	演習要項の熟読 看護技術に関するテキストの熟読および動画視聴【45分】	演習の実施記録を整理する【45分】
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		

第5回	<p>【演習】車椅子・ストレッチャー移送の看護技術 移送に関する基本的な看護技術を実践し、それを基にグループでディスカッションを行うことによって看護の学びを深める。 1) 車椅子による移送の援助 2) ストレッチャーによる移送の援助</p>	<p>演習要項の熟読 看護技術に関する教科書の該当部分の熟読および動画視聴 【45分】</p>	<p>演習の実施記録を整理する 【45分】</p>
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第6回	<p>【講義】安楽確保のための援助 人間にとっての安楽の意義および安楽な日常生活を支えるために必要な看護技術の基礎的知識を学ぶ。 1) 安楽の意義 2) 安楽をもたらす看護技術</p>	<p>教科書Ⅰ p.318-319およびp.334-342を熟読する 【45分】</p>	<p>学習した講義内容を復習する 【45分】</p>
担当教員	竹之内 優美		
第7回	<p>【講義】清潔・衣生活の援助① 人間にとっての清潔・衣生活の意義と看護実践に必要な清潔・衣生活のアセスメントの視点を学ぶ。 1) 清潔・衣生活の意義 2) 清潔の援助の種類とアセスメントの視点</p>	<p>教科書Ⅱ p.150-154を熟読する 【30分】</p>	<p>学習した講義内容を復習する 【45分】</p>
担当教員	竹之内 優美		
第8回	<p>【講義】清潔・衣生活の援助② 身体の清潔に関する看護技術の基礎的知識を学ぶ。 1) 清潔の援助方法の実際 (入浴・手浴・足浴・洗髪・陰部洗浄)</p>	<p>教科書Ⅱ p.155-167およびp.174-177を熟読する 【45分】</p>	<p>学習した講義内容を復習する 【45分】</p>
担当教員	竹之内 優美		
第9回	<p>【演習】臥床患者への洗髪・整髪の援助技術 洗髪・整髪に関する基本的な看護技術を実践し、それを基にグループでディスカッションを行うことによって看護の学びを深める。 1) 洗髪(ケリーパッド/洗髪車) 2) 整髪</p>	<p>演習要項の熟読 看護技術に関するテキストの熟読および動画視聴 【45分】</p>	<p>演習の実施記録を整理する 【45分】</p>
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第10回	<p>【演習】臥床患者への部分浴の援助技術 手浴・足浴に関する基本的な看護技術を実践し、それを基にグループでディスカッションを行うことによって看護の学びを深める。 1) 足浴</p>	<p>演習要項の熟読 看護技術に関するテキストの熟読および動画視聴 【45分】</p>	<p>学習した講義内容を復習する 【45分】</p>
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		

第11回	【講義】清潔・衣生活の援助③ 身体の清潔に関する看護技術の基礎的知識を学ぶ。 1) 清潔の援助方法の実際(清拭・口腔ケア・整容) 2) 衣生活の援助方法の実際(寝衣交換) 【小テスト(10点)】	教科書Ⅱp.168-174および p.177-189を熟読する 【45分】	学習した講義内容を復習する 【45分】
担当教員	竹之内 優美		
第12回	【演習】清拭・寝衣交換に関する援助技術の部分練習と実験 清拭・寝衣交換に関する看護技術の部分体験と実験を通し、科学的根拠に基づいた看護実践の重要性について理解を深める。 1) 寝衣交換の基本 2) 清拭時の湯の温度の測定実験 3) 安全・安楽な身体の手拭き方	演習要項の熟読 看護技術に関するテキストの熟読および動画視聴 【45分】	演習の実施記録を整理する 【45分】
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第13回	【演習】臥床患者への清拭・更衣の援助技術① 本科目での学びを総括して部分清拭・寝衣交換に関する基本的な看護技術を実践し、それを基にグループでディスカッションを行うことによって看護の学びを深める。 1) 部分清拭(上肢・下肢・背部清拭) 2) 寝衣交換(和式寝間着⇒長病衣)	演習要項の熟読 看護技術に関するテキストの熟読および動画視聴 【45分】	演習の実施記録を整理する 【45分】
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第14回	【演習】臥床患者への清拭・更衣の援助技術② 本科目での学びを総括して部分清拭・寝衣交換に関する基本的な看護技術を実践し、それを基にグループでディスカッションを行うことによって看護の学びを深める。 1) 部分清拭(上肢・下肢・背部清拭) 2) 寝衣交換(和式寝間着⇒長病衣)	演習要項の熟読 看護技術に関するテキストの熟読および動画視聴 【45分】	演習の実施記録を整理する 【45分】
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第15回	【科目確認テスト(40点)】 【まとめ】 ・本科目の学習内容のまとめ	テキスト・講義資料・演習記録の内容を復習する 【90分】	本科目の学習内容を整理する 【45分】
担当教員	竹之内 優美		
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	1) 科目確認テスト(40%)、小テスト(2回)20%、演習記録(事前課題・実施記録)40% ※演習記録の評価基準については、コースガイダンス時に説明する 2) 提出物の遅延・参加態度・演習時の身だしなみ等は減点対象とする	

その他	0	
-----	---	--

教科書

1. 深井喜代子編：新体系 看護学全書 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ メヂカルフレンド社
2. 深井喜代子編：新体系 看護学全書 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅱ メヂカルフレンド社

参考文献

1. 有田 清子 他：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 第18版 医学書院
 2. 任和子・井川順子・秋山智弥編：根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 第2版 医学書院
 3. 松尾ミヨ子 他 編：ナースング・グラフィカ基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ メディカ出版
 4. 横山美樹：看護がみえる！Vol.1 基礎看護技術 第1版 メディックメディア
- その他、授業の中で随時紹介する。

履修条件・留意事項等

- ・出席時間2/3以上かつ総合評価60%以上の2つの要件を満たした場合に、本科目の単位を認定します。
- ・演習内容によっては、2講続きとなる場合や3組編成となる場合があります。授業予定については、第1回目のコースガイダンス時に説明します。

備考欄

--

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		専門科目 基礎看護学					
科目名		日常生活援助技術 I (1組)				ナンバリング	3411
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	演習	単位	1
担当教員	竹之内 優美、木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、渡辺 一代、赤坂 浩子						
授業の位置づけ							
<p>本科目は、看護学科のディプロマポリシーの中でも特に「健康状態やその変化に応じた看護に必要な科学的根拠に基づいた判断力・思考力・対象理解力を高め、看護師としての実践能力を有している。(知識・技能)」に関連した科目である。本科目を学ぶことにより、人々の健康的な生活を支援するための基礎的知識・技術を獲得すると共に、状況に合わせた判断やコミュニケーションおよび自己の看護実践を客観的に評価するための基礎的能力を養うことにもつながる。また本科目は、1年次前期に開講される各専門基礎科目や専門科目「看護学概論」・「共通看護援助技術」での学びを基盤としており、さらに「日常生活援助技術Ⅱ」をはじめとする各専門科目を学ぶうえでの基礎となる。</p>							
授業の概要							
<p>科学的根拠に基づいた基本的な判断力・思考力を用いた実践能力を養うため、看護の対象である人間の活動と休息のバランス、清潔と衣生活についての概念や技術理論を学ぶ。また、対象者の日常生活動作と活動の拡大、休息への援助方法、清潔と衣生活に関連した援助技術を理解する。加えて、活動援助及び清潔・衣生活への援助の技術を習得する。</p>							
到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間にとっての活動・休息の意義を理解し、健康的な生活を送るために必要な活動・休息に関する看護を実践するための基礎的知識を説明できる。 2. 人間にとっての清潔・衣生活の意義を理解し、健康的な生活を送るために必要な清潔・衣生活に関する看護を実践するための基礎的知識を説明できる。 3. 原理・原則に基づき、活動および清潔・衣生活の援助に関する基本的な看護技術を実施できる。 4. 看護援助の際に、実施前・中・後の対象者の反応を観察できる。 5. 看護援助後の振り返りを通し、対象者にとっての安全・安楽・自立(自律)性の視点から看護について考えたことを述べることができる。 							
授業の方法							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 講義: パワーポイントと配布資料および必要に応じて動画視聴を用いて説明する。 2. 演習: 講義後に学生間で患者役・看護師役になり、基本的な看護援助を実践する。また、実施後は、対象者の安全・安楽・自立性の視点から看護援助についてグループでディスカッションを行う。 							
ICT活用							
<p>Google Formのアンケート機能を用いて双方向授業を取り入れる。</p>							
実務経験のある教員の教育内容							

看護師として病院勤務を有する各教員が臨床経験を活かし、日常生活援助技術を教授する。

課題に対するフィードバックの方法

1. 講義に関連した課題については、講義の中で全体へのフィードバックを行う。
2. 演習記録に関しては、コメントを記載し返却する、または全体へのフィードバックを行う。
3. 小テストおよび科目確認テスト実施後に、解答の解説を行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	<p>【コースガイドンス】</p> <p>【講義】活動と休息の援助① 人間にとっての活動・休息の意義と看護実践に必要な活動・休息のアセスメントの視点を学ぶ。 1)活動・休息の意義 2)休息・睡眠のアセスメントの視点 3)睡眠・休息の援助</p>	教科書Ⅱp105-109およびp.141-147を熟読する【30分】	学習した講義内容を復習する【45分】
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第2回	<p>【講義】活動と休息の援助② 活動と休息に関する看護技術の基礎的知識を学ぶ。 1)活動・運動のアセスメントの視点 2)活動の援助(関節可動域運動) 3)移動の援助(歩行・車いす・ストレッチャー) 【小テスト(10点)】</p>	教科書Ⅱp.109-116およびp.129-141を熟読する【45分】	学習した講義内容を復習する【45分】
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第3回	<p>【演習】対象者の状況に合わせた歩行の援助技術 歩行用具の使用体験および歩行の援助を実践し、それを基にグループでディスカッションを行うことによって看護の学びを深める。 1)歩行用具を使用した歩行体験(杖・歩行器) 2)歩行の援助</p>	演習要項の熟読 看護技術に関するテキストの熟読および動画視聴【45分】	演習の実施記録を整理する【45分】
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第4回	<p>【演習】離床のための援助技術 離床の援助に関する基本的な看護技術を実践し、それを基にグループでディスカッションを行うことによって看護の学びを深める。 1)移乗の援助(椅子・車いす・ストレッチャー)</p>	演習要項の熟読 看護技術に関するテキストの熟読および動画視聴【45分】	演習の実施記録を整理する【45分】
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		

第5回	<p>【演習】車椅子・ストレッチャー移送の看護技術 移送に関する基本的な看護技術を実践し、それを基にグループでディスカッションを行うことによって看護の学びを深める。 1) 車椅子による移送の援助 2) ストレッチャーによる移送の援助</p>	<p>演習要項の熟読 看護技術に関する教科書の該当部分の熟読および動画視聴 【45分】</p>	<p>演習の実施記録を整理する 【45分】</p>
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第6回	<p>【講義】安楽確保のための援助 人間にとっての安楽の意義および安楽な日常生活を支えるために必要な看護技術の基礎的知識を学ぶ。 1) 安楽の意義 2) 安楽をもたらす看護技術</p>	<p>教科書Ⅰ p.318-319およびp.334-342を熟読する 【45分】</p>	<p>学習した講義内容を復習する 【45分】</p>
担当教員	竹之内 優美		
第7回	<p>【講義】清潔・衣生活の援助① 人間にとっての清潔・衣生活の意義と看護実践に必要な清潔・衣生活のアセスメントの視点を学ぶ。 1) 清潔・衣生活の意義 2) 清潔の援助の種類とアセスメントの視点</p>	<p>教科書Ⅱ p.150-154を熟読する 【30分】</p>	<p>学習した講義内容を復習する 【45分】</p>
担当教員	竹之内 優美		
第8回	<p>【講義】清潔・衣生活の援助② 身体の清潔に関する看護技術の基礎的知識を学ぶ。 1) 清潔の援助方法の実際 (入浴・手浴・足浴・洗髪・陰部洗浄)</p>	<p>教科書Ⅱ p.155-167およびp.174-177を熟読する 【45分】</p>	<p>学習した講義内容を復習する 【45分】</p>
担当教員	竹之内 優美		
第9回	<p>【演習】臥床患者への洗髪・整髪の援助技術 洗髪・整髪に関する基本的な看護技術を実践し、それを基にグループでディスカッションを行うことによって看護の学びを深める。 1) 洗髪(ケリーパッド/洗髪車) 2) 整髪</p>	<p>演習要項の熟読 看護技術に関するテキストの熟読および動画視聴 【45分】</p>	<p>演習の実施記録を整理する 【45分】</p>
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第10回	<p>【演習】臥床患者への部分浴の援助技術 手浴・足浴に関する基本的な看護技術を実践し、それを基にグループでディスカッションを行うことによって看護の学びを深める。 1) 足浴</p>	<p>演習要項の熟読 看護技術に関するテキストの熟読および動画視聴 【45分】</p>	<p>演習の実施記録を整理する 【45分】</p>
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		

第11回	【講義】清潔・衣生活の援助③ 身体の清潔に関する看護技術の基礎的知識を学ぶ。 1) 清潔の援助方法の実際(清拭・口腔ケア・整容) 2) 衣生活の援助方法の実際(寝衣交換) 【小テスト(10点)】	教科書Ⅱp.168-174および p.177-189を熟読する 【45分】	学習した講義内容を復習する 【45分】
担当教員	竹之内 優美		
第12回	【演習】清拭・寝衣交換に関する援助技術の部分練習と実験 清拭・寝衣交換に関する看護技術の部分体験と実験を通して、科学的根拠に基づいた看護実践の重要性について理解を深める。 1) 寝衣交換の基本 2) 清拭時の湯の温度の測定実験 3) 安全・安楽な身体の拭き方	演習要項の熟読 看護技術に関するテキストの熟読および動画視聴 【45分】	演習の実施記録を整理する 【45分】
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第13回	【演習】臥床患者への清拭・更衣の援助技術① 本科目での学びを総括して部分清拭・寝衣交換に関する基本的な看護技術を実践し、それを基にグループでディスカッションを行うことによって看護の学びを深める。 1) 部分清拭(上肢・下肢・背部清拭) 2) 寝衣交換(和式寝間着⇒長病衣)	演習要項の熟読 看護技術に関するテキストの熟読および動画視聴 【45分】	演習の実施記録を整理する 【45分】
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第14回	【演習】臥床患者への清拭・更衣の援助技術② 本科目での学びを総括して部分清拭・寝衣交換に関する基本的な看護技術を実践し、それを基にグループでディスカッションを行うことによって看護の学びを深める。 1) 部分清拭(上肢・下肢・背部清拭) 2) 寝衣交換(和式寝間着⇒長病衣)	演習要項の熟読 看護技術に関するテキストの熟読および動画視聴 【45分】	演習の実施記録を整理する 演習後レポート②を作成する(活動・清潔援助の演習を通して、対象者の安全・安楽・自立(自律)について考えたことをまとめる) 【90分】
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第15回	【科目確認テスト(40点)】 【まとめ】 ・本科目の学習内容のまとめ	テキスト・講義資料・演習記録の内容を復習する 【90分】	本科目の学習内容を整理する 【45分】
担当教員	竹之内 優美		
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	1) 科目確認テスト(40%)、小テスト(2回)20%、演習記録(事前課題・実施記録)40% ※演習記録の評価基準については、コースガイダンス時に説明する 2) 提出物の遅延・参加態度・演習時の身だしなみ等は減点対象とする	

<p>その他</p>	<p>0</p>	
<p>教科書</p>		
<p>1. 深井喜代子編：新体系 看護学全書 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ メヂカルフレンド社 2. 深井喜代子編：新体系 看護学全書 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅱ メヂカルフレンド社</p>		
<p>参考文献</p>		
<p>1. 有田 清子 他：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 第18版 医学書院 2. 任和子・井川順子・秋山智弥編：根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 第2版 医学書院 3. 松尾ミヨ子 他 編：ナースング・グラフィカ基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ メディカ出版 4. 横山美樹：看護がみえる！Vol.1 基礎看護技術 第1版 メディックメディア その他、授業の中で随時紹介する。</p>		
<p>履修条件・留意事項等</p>		
<p>・出席時間2/3以上かつ総合評価60%以上の2つの要件を満たした場合に、本科目の単位を認定します。 ・演習内容によっては、2講続きとなる場合や3組編成となる場合があります。授業予定については、第1回目のコースガイダンス時に説明します。</p>		
<p>備考欄</p>		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		専門科目 基礎看護学					
科目名		日常生活援助技術Ⅱ(1組)				ナンバリング	3415
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	演習	単位	1
担当教員	竹之内 優美、木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、渡辺 一代、赤坂 浩子						
授業の位置づけ							
<p>本科目は、看護学科のディプロマポリシーの中でも特に「健康状態やその変化に応じた看護に必要となる、科学的根拠に基づいた判断力・思考力・対象理解力を高め、看護師としての実践能力を有している。(知識・技能)」に関連した科目であり、1年次前期に開講される各専門基礎科目や専門科目における学びを活用する。本科目を学ぶことにより、人々の健康的な生活を支援するための基礎的知識・技術を獲得すると共に、食事と排泄の援助を通して対象者の尊厳を守るための倫理観を養う。ここでの学びは、2年次以降の各専門科目につながる看護援助の基盤となる。</p>							
授業の概要							
<p>科学的根拠に基づいた基本的な判断力・思考力を用いた実践能力を養うため、看護の対象である人間の生活における栄養と排泄の意義、援助における看護の役割を理解する。また、栄養及び排泄における援助の技術を習得する。</p>							
到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間にとっての食事の意義を理解し、健康的な生活を送るために必要な食事に対する看護援助に関する基礎的知識を説明できる。 2. 人間にとっての排泄の意義を理解し、健康的な生活を送るために必要な排泄に対する看護援助に関する基礎的知識を説明できる。 3. 原理・原則に基づき、食事および排泄の援助に関する基本的な看護技術を実施できる。 4. 看護援助の際に、実施前・中・後の対象者の反応を観察できる。 5. 看護援助後の振り返りを通し、対象者にとっての安全・安楽・自立(自律)と尊厳の視点から看護について考えたことを述べるができる。 							
授業の方法							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 講義:パワーポイントと配布資料および必要に応じて動画視聴を用いて説明する。 2. 演習:講義後に学生間で患者役・看護師役になり、基本的な看護援助を実践する。また、実施後は、対象者の安全・安楽・自立(自律)性および尊厳の視点から看護援助についてグループでディスカッションを行う。 							
ICT活用							
<p>Google Formのアンケート機能を用いて双方向授業を取り入れる。</p>							
実務経験のある教員の教育内容							

看護師として病院勤務を有する各教員が臨床経験を活かし、日常生活援助技術を教授する。

課題に対するフィードバックの方法

1. 講義に関連した課題については、講義の中で全体へのフィードバックを行う。
2. 演習記録に関しては、コメントを記載し返却する、または全体へのフィードバックを行う。
3. 小テストおよび科目確認テスト実施後に、解答の解説を行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	<p>【コースガイドンス】</p> <p>【講義】食事の援助① 人間にとっての食事・栄養の意義と看護実践に必要な食事・栄養のアセスメントの視点を学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 食事・栄養の意義 2) 「食べる」ために必要な機能 3) 食事・栄養のアセスメントの視点 	シラバスおよび教科書p22-31を熟読する 【30分】	学習した講義内容を復習する 【45分】
担当教員	竹之内 優美		
第2回	<p>【講義・演習】食事の援助② 食事援助の基本的知識を学ぶ。さらに、自分自身の情報から、食事・栄養状態のアセスメントの実際を学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 対象者の状況に合わせた食事の看護援助 2) 自分自身の栄養状態を把握する。 <ul style="list-style-type: none"> ・基礎代謝量の計算 ・1日の摂取カロリーの計算と栄養バランス ・BMIの計算 	自分自身の食生活の状況を記録する。 教科書Ⅱ p26-29を熟読する 【45分】	学習した講義内容を復習する 【45分】
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第3回	<p>【講義・デモンストレーション】食事の援助③ 経口摂取以外の栄養補給の方法と看護援助を学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 経腸栄養法と静脈栄養法 2) 経腸栄養を受ける対象者への看護援助 3) 経鼻カテーテルの挿入 4) 経腸栄養を受ける対象者の観察と管理方法の実際 	デモンストレーション内容の看護技術に関するテキストの熟読および動画視聴 【45分】	学習した講義内容を復習する 【45分】
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第4回	<p>【演習】食事摂取の自立に支障をきたしている対象者への援助技術① 事例の状況に合わせた食事の援助を実践し、それを基にグループでディスカッションを行うことによって看護の学びを深める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 利き手の上肢の機能障害を持つ対象者の食事援助 2) 視覚障害を持つ対象者の食事援助 3) 座位保持が困難である対象者の食事援助 4) 口腔ケアの基本的な援助方法 	演習要項の熟読 看護技術に関するテキストの熟読および動画視聴 【45分】	演習の実施記録を整理する 【45分】
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		

第5回	<p>【演習】食事摂取の自立に支障をきたしている対象者への援助技術② 事例の状況に合わせた食事の援助を实践し、それを基にグループでディスカッションを行うことによって看護の学びを深める。 1) 利き手の上肢の機能障害を持つ対象者の食事援助 2) 視覚障害を持つ対象者の食事援助 3) 座位保持が困難である対象者の食事援助 4) 口腔ケアの基本的な援助方法</p>	<p>演習要項の熟読 看護技術に関する教科書の該当部分の熟読および動画視聴 【45分】</p>	<p>演習の実施記録を整理する 【45分】</p>
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第6回	<p>【講義】排泄の援助① 人間にとっての排泄の意義と排泄のアセスメントの視点を学ぶ。 1) 排泄の意義 2) 排泄に必要な機能 3) 排泄のアセスメント 4) 水分出納バランスの計算 5) 排泄援助の基本 6) 床上排泄時の看護援助(便器・尿器、おむつ)</p>	<p>教科書Ⅱp58-73を熟読する 【30分】</p>	<p>学習した講義内容を復習する 【45分】</p>
担当教員	竹之内 優美		
第7回	<p>【講義】排泄の援助② 排便障害の種類と健康的な排便を促すための看護援助を学ぶ。 1) 排便障害とアセスメントの視点 2) 自然排便を促すための看護援助 3) 摘便の目的・適応と留意点 4) 浣腸の目的・適応と留意点 【小テスト10点】</p>	<p>教科書Ⅱp.73-81およびp.85-97を熟読する 【45分】</p>	<p>学習した講義内容を復習する 【45分】</p>
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第8回	<p>【講義・デモンストレーション】排便障害を持つ対象者の援助技術① 事前排便が困難である対象者への看護技術の実際を学ぶ。 1) 床上排泄の対象者に対する便器・尿器を用いた援助の実際 2) 自然排便を促すための腹部マッサージと腰部温罨法の実際 3) 安全な摘便・浣腸の方法と援助の実際</p>	<p>演習要項の熟読 看護技術に関するテキストの熟読および動画視聴 【45分】</p>	<p>演習の実施記録を整理する 【45分】</p>
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第9回	<p>【演習】排便障害を持つ対象者の援助技術② 原理原則に基づき、対象者の状態に合わせた排便に関する看護技術を实践し、それを基にグループでディスカッションを行うことによって看護の学びを深める。 1) 浣腸と便器・尿器の挿入</p>	<p>演習要項の熟読 看護技術に関するテキストの熟読および動画視聴 【45分】</p>	<p>演習の実施記録を整理する 【45分】</p>
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第10回	<p>【演習】排便障害を持つ対象者の援助技術③ 原理原則に基づき、対象者の状態に合わせた排便に関する看護技術を实践し、それを基にグループでディスカッションを行うことによって看護の学びを深める。 1) 浣腸と便器・尿器の挿入</p>	<p>演習要項の熟読 看護技術に関するテキストの熟読および動画視聴 【45分】</p>	<p>演習の実施記録を整理する 【45分】</p>
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		

第11回	【講義】排泄の援助③ 排尿障害の種類とその状態に合わせた看護援助を学ぶ。 1) 排尿障害とアセスメントの視点 2) 失禁に対する看護援助 3) おむつの使用の目的・適応と留意点 4) 導尿の目的・適応と留意点 5) 膀胱留置カテーテルの目的・適応と留意点 【小テスト10点】	教科書Ⅱp81-84およびp.97-103 を熟読する 【45分】	学習した講義内容を復習する 【45分】
担当教員	竹之内 優美		
第12回	【講義・デモンストレーション】排尿障害を持つ対象者の援助技術① 事前排便が困難である対象者への看護技術の実際を学ぶ。 1) おむつを着用している対象者への援助の実際 2) 陰部の清潔を保つための援助の実際 3) 安全な一時的導尿の方法と援助の実際	デモンストレーション内容の看護技術に関するテキストの熟読および動画視聴 【45分】	学習した講義内容を復習する 【45分】
担当教員	竹之内 優美		
第13回	【演習】排便障害を持つ対象者の援助技術② 原理原則に基づき、対象者の状態に合わせた排尿に関する看護技術を実践し、それを基にグループでディスカッションを行うことによって看護の学びを深める。 1) 一時的導尿	演習要項の熟読 看護技術に関するテキストの熟読および動画視聴 (45分)	演習の実施記録を整理する 【45分】
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第14回	【演習】排便障害を持つ対象者の援助技術③ 原理原則に基づき、対象者の状態に合わせた排尿に関する看護技術を実践し、それを基にグループでディスカッションを行うことによって看護の学びを深める。 1) 一時的導尿	演習要項の熟読 看護技術に関するテキストの熟読および動画視聴 (45分)	演習の実施記録を整理する 【45分】
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第15回	【科目確認テスト(40点)】 【まとめ】 ・本科目の学習内容のまとめ	テキスト・講義資料・演習記録の内容を復習する 【90分】	本科目の学習内容を整理する 【45分】
担当教員	竹之内 優美		
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	1) 科目確認テスト(40%)、小テスト(2回)20%、演習記録(事前課題・実施記録)40% ※演習記録の評価基準については、コースガイダンス時に説明する 2) 提出物の遅延・参加態度・演習時の身だしなみ等は減点対象とする	

その他	0	なし
教科書		
1. 深井喜代子編: 新体系 看護学全書 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅱ メヂカルフレンド社		
参考文献		
1. 有田 清子 他: 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 第18版 医学書院 2. 松尾ミヨ子 他 編: ナーシング・グラフィカ基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ メディカ出版 3. 香川芳子編: 七訂 食品80キロカロリーガイドブック 女子栄養大学出版部 4. 任和子・井川順子・秋山智弥編: 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 第2版 医学書院 5. 横山美樹: 看護がみえる! Vol.1 基礎看護技術 第1版 メディックメディア その他、授業の中で随時紹介する。		
履修条件・留意事項等		
<ul style="list-style-type: none"> ・出席時間2/3以上かつ総合評価60%以上の2つの要件を満たした場合に、本科目の単位を認定します。 ・演習内容によっては、2講続きとなる場合や3組編成となる場合があります。授業予定については、第1回目のコースガイダンス時に説明します。 		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		専門科目 基礎看護学					
科目名		日常生活援助技術Ⅱ(2組)				ナンバリング	3415
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	演習	単位	1
担当教員	竹之内 優美、木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、渡辺 一代、赤坂 浩子						
授業の位置づけ							
<p>本科目は、看護学科のディプロマポリシーの中でも特に「健康状態やその変化に応じた看護に必要となる、科学的根拠に基づいた判断力・思考力・対象理解力を高め、看護師としての実践能力を有している。(知識・技能)」に関連した科目であり、1年次前期に開講される各専門基礎科目や専門科目における学びを活用する。本科目を学ぶことにより、人々の健康的な生活を支援するための基礎的知識・技術を獲得すると共に、食事と排泄の援助を通して対象者の尊厳を守るための倫理観を養う。ここでの学びは、2年次以降の各専門科目につながる看護援助の基盤となる。</p>							
授業の概要							
<p>科学的根拠に基づいた基本的な判断力・思考力を用いた実践能力を養うため、看護の対象である人間の生活における栄養と排泄の意義、援助における看護の役割を理解する。また、栄養及び排泄における援助の技術を習得する。</p>							
到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間にとっての食事の意義を理解し、健康的な生活を送るために必要な食事に対する看護援助に関する基礎的知識を説明できる。 2. 人間にとっての排泄の意義を理解し、健康的な生活を送るために必要な排泄に対する看護援助に関する基礎的知識を説明できる。 3. 原理・原則に基づき、食事および排泄の援助に関する基本的な看護技術を実施できる。 4. 看護援助の際に、実施前・中・後の対象者の反応を観察できる。 5. 看護援助後の振り返りを通し、対象者にとっての安全・安楽・自立(自律)と尊厳の視点から看護について考えたことを述べるができる。 							
授業の方法							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 講義:パワーポイントと配布資料および必要に応じて動画視聴を用いて説明する。 2. 演習:講義後に学生間で患者役・看護師役になり、基本的な看護援助を実践する。また、実施後は、対象者の安全・安楽・自立(自律)性および尊厳の視点から看護援助についてグループでディスカッションを行う。 							
ICT活用							
<p>Google Formのアンケート機能を用いて双方向授業を取り入れる。</p>							
実務経験のある教員の教育内容							

看護師として病院勤務を有する各教員が臨床経験を活かし、日常生活援助技術を教授する。

課題に対するフィードバックの方法

1. 講義に関連した課題については、講義の中で全体へのフィードバックを行う。
2. 演習記録に関しては、コメントを記載し返却する、または全体へのフィードバックを行う。
3. 小テストおよび科目確認テスト実施後に、解答の解説を行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	<p>【コースガイドンス】</p> <p>【講義】食事の援助① 人間にとっての食事・栄養の意義と看護実践に必要な食事・栄養のアセスメントの視点を学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 食事・栄養の意義 2) 「食べる」ために必要な機能 3) 食事・栄養のアセスメントの視点 	シラバスおよび教科書p22-31を熟読する 【30分】	学習した講義内容を復習する 【45分】
担当教員	竹之内 優美		
第2回	<p>【講義・演習】食事の援助② 食事援助の基本的知識を学ぶ。さらに、自分自身の情報から、食事・栄養状態のアセスメントの実際を学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 対象者の状況に合わせた食事の看護援助 2) 自分自身の栄養状態を把握する。 <ul style="list-style-type: none"> ・基礎代謝量の計算 ・1日の摂取カロリーの計算と栄養バランス ・BMIの計算 	自分自身の食生活の状況を記録する。 教科書Ⅱp26-29を熟読する 【45分】	学習した講義内容を復習する 【45分】
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第3回	<p>【講義・デモンストレーション】食事の援助③ 経口摂取以外の栄養補給の方法と看護援助を学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 経腸栄養法と静脈栄養法 2) 経腸栄養を受ける対象者への看護援助 3) 経鼻カテーテルの挿入 4) 経腸栄養を受ける対象者の観察と管理方法の実際 	デモンストレーション内容の看護技術に関するテキストの熟読および動画視聴 【45分】	学習した講義内容を復習する 【45分】
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第4回	<p>【演習】食事摂取の自立に支障をきたしている対象者への援助技術① 事例の状況に合わせた食事の援助を実践し、それを基にグループでディスカッションを行うことによって看護の学びを深める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 利き手の上肢の機能障害を持つ対象者の食事援助 2) 視覚障害を持つ対象者の食事援助 3) 座位保持が困難である対象者の食事援助 4) 口腔ケアの基本的な援助方法 	演習要項の熟読 看護技術に関するテキストの熟読および動画視聴 【45分】	演習の実施記録を整理する 【45分】
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		

第5回	<p>【演習】食事摂取の自立に支障をきたしている対象者への援助技術② 事例の状況に合わせた食事の援助を实践し、それを基にグループでディスカッションを行うことによって看護の学びを深める。 1) 利き手の上肢の機能障害を持つ対象者の食事援助 2) 視覚障害を持つ対象者の食事援助 3) 座位保持が困難である対象者の食事援助 4) 口腔ケアの基本的な援助方法</p>	<p>演習要項の熟読 看護技術に関する教科書の該当部分の熟読および動画視聴 【45分】</p>	<p>演習の実施記録を整理する 【45分】</p>
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第6回	<p>【講義】排泄の援助① 人間にとっての排泄の意義と排泄のアセスメントの視点を学ぶ。 1) 排泄の意義 2) 排泄に必要な機能 3) 排泄のアセスメント 4) 水分出納バランスの計算 5) 排泄援助の基本 6) 床上排泄時の看護援助(便器・尿器、おむつ)</p>	<p>教科書Ⅱ p58-73 を熟読する 【30分】</p>	<p>学習した講義内容を復習する 【45分】</p>
担当教員	竹之内 優美		
第7回	<p>【講義】排泄の援助② 排便障害の種類と健康的な排便を促すための看護援助を学ぶ。 1) 排便障害とアセスメントの視点 2) 自然排便を促すための看護援助 3) 摘便の目的・適応と留意点 4) 浣腸の目的・適応と留意点 【小テスト10点】</p>	<p>教科書Ⅱ p.73-81およびp.85-97 を熟読する 【45分】</p>	<p>学習した講義内容を復習する 【45分】</p>
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第8回	<p>【講義・デモンストレーション】排便障害を持つ対象者の援助技術① 事前排便が困難である対象者への看護技術の実際を学ぶ。 1) 床上排泄の対象者に対する便器・尿器を用いた援助の実際 2) 自然排便を促すための腹部マッサージと腰部温罨法の実際 3) 安全な摘便・浣腸の方法と援助の実際</p>	<p>デモンストレーション内容の看護技術に関するテキストの熟読および動画視聴 【45分】</p>	<p>学習した講義内容を復習する 【45分】</p>
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第9回	<p>【演習】排便障害を持つ対象者の援助技術② 原理原則に基づき、対象者の状態に合わせた排便に関する看護技術を实践し、それを基にグループでディスカッションを行うことによって看護の学びを深める。 1) 浣腸と便器・尿器の挿入</p>	<p>演習要項の熟読 看護技術に関するテキストの熟読および動画視聴 【45分】</p>	<p>演習の実施記録を整理する 【45分】</p>
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第10回	<p>【演習】排便障害を持つ対象者の援助技術③ 原理原則に基づき、対象者の状態に合わせた排便に関する看護技術を实践し、それを基にグループでディスカッションを行うことによって看護の学びを深める。 1) 浣腸と便器・尿器の挿入</p>	<p>演習要項の熟読 看護技術に関するテキストの熟読および動画視聴 【45分】</p>	<p>演習の実施記録を整理する 【45分】</p>
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		

第11回	【講義】排泄の援助③ 排尿障害の種類とその状態に合わせた看護援助を学ぶ。 1) 排尿障害とアセスメントの視点 2) 失禁に対する看護援助 3) おむつの使用の目的・適応と留意点 4) 導尿の目的・適応と留意点 5) 膀胱留置カテーテルの目的・適応と留意点 【小テスト10点】	教科書Ⅱp81-84およびp.97-103 を熟読する 【45分】	学習した講義内容を復習する 【45分】
担当教員	竹之内 優美		
第12回	【講義・デモンストレーション】排尿障害を持つ対象者の援助技術① 事前排便が困難である対象者への看護技術の実際を学ぶ。 1) おむつを着用している対象者への援助の実際 2) 陰部の清潔を保つための援助の実際 3) 安全な一時的導尿の方法と援助の実際	デモンストレーション内容の看護技術に関するテキストの熟読および動画視聴 【45分】	学習した講義内容を復習する 【45分】
担当教員	竹之内 優美		
第13回	【演習】排便障害を持つ対象者の援助技術② 原理原則に基づき、対象者の状態に合わせた排尿に関する看護技術を実践し、それを基にグループでディスカッションを行うことによって看護の学びを深める。 1) 一時的導尿	演習要項の熟読 看護技術に関するテキストの熟読および動画視聴 (45分)	演習の実施記録を整理する 【45分】
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第14回	【演習】排便障害を持つ対象者の援助技術③ 原理原則に基づき、対象者の状態に合わせた排尿に関する看護技術を実践し、それを基にグループでディスカッションを行うことによって看護の学びを深める。 1) 一時的導尿	演習要項の熟読 看護技術に関するテキストの熟読および動画視聴 (45分)	演習の実施記録を整理する 【45分】
担当教員	木口 幸子、佐々木 律子、藤長 すが子、竹之内 優美、渡辺 一代、赤坂 浩子		
第15回	【科目確認テスト(40点)】 【まとめ】 ・本科目の学習内容のまとめ	テキスト・講義資料・演習記録の内容を復習する 【90分】	本科目の学習内容を整理する 【45分】
担当教員	竹之内 優美		
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	1) 科目確認テスト(40%)、小テスト(2回)20%、演習記録(事前課題・実施記録)40% ※演習記録の評価基準については、コースガイダンス時に説明する 2) 提出物の遅延・参加態度・演習時の身だしなみ等は減点対象とする	

その他	0	なし
-----	---	----

教科書

1. 深井喜代子編: 新体系 看護学全書 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅱ メヂカルフレンド社

参考文献

1. 有田 清子 他: 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 第18版 医学書院
 2. 松尾ミヨ子 他 編: ナーシング・グラフィカ基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ メディカ出版
 3. 香川芳子編: 七訂 食品80キロカロリーガイドブック 女子栄養大学出版部
 4. 任和子・井川順子・秋山智弥編: 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 第2版 医学書院
 5. 横山美樹: 看護がみえる! Vol.1 基礎看護技術 第1版 メディックメディア
- その他、授業の中で随時紹介する。

履修条件・留意事項等

- ・出席時間2/3以上かつ総合評価60%以上の2つの要件を満たした場合に、本科目の単位を認定します。
- ・演習内容によっては、2講続きとなる場合や3組編成となる場合があります。授業予定については、第1回目のコースガイダンス時に説明します。

備考欄

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		専門科目 成人看護学					
科目名		成人看護学の基礎				ナンバリング	3500
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	1
担当教員	尾形 裕子						
授業の位置づけ							
成人看護学は成人看護学の基礎、展開Ⅰ～Ⅲ、臨地実習の科目で構成される。成人看護学の基礎は、成人期にある人々の特徴を理解し、健康問題とその看護についての概要を学ぶ。「生涯発達論」「医学概論」「看護学の基礎」と連携している。本科目は、成人看護学の展開Ⅰ～Ⅲ、臨地実習へと繋がり、成人看護学全体の基盤となる科目である。DP「健康状態やその変化に応じた看護に必要となる、科学的根拠に基づいた判断力・思考力・対象理解力を高め、看護師としての実践能力を有している。(知識・技能)」ことと特に関係がある科目である。							
授業の概要							
成人期の対象を、変動する社会状況に関わりながら社会生活を営む生活者として捉え、成人各期にある人の身体的・精神的・社会的な特徴と健康問題の概要について学ぶ。また、成人各期の発達段階に応じた、健康の保持・増進・疾病予防の方法と看護の役割を学ぶ。							
到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> 1.成人看護学の対象を、生活者、ライフサイクル、健康レベルの視点から述べることができる 2.成人をとりまく保健・医療・福祉の動向を述べるができる 3.各健康レベルの特徴から成人期にある人の健康について述べるができる 4.成人看護学に有効な理論の概略と、対象者の状況や状態によりどの理論を使用するのかを論じることができる 							
授業の方法							
パワーポイントと配信した講義資料を用いて講義形式で進める 課題、レポート、理解度確認テストを行う コメントシートを活用して個別に授業の振り返りを行い、その内容をクラスで共有する							
ICT活用							
なし							
実務経験のある教員の教育内容							

看護師として勤務した経験を活かして、成人期の人への基本的アプローチと健康状態に応じた看護について講義を行う

課題に対するフィードバックの方法

事前課題、理解度確認テストの回答と解説は講義の中でフィードバックする

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	ガイダンス 成人看護学の特性について I. 成人期にある人の理解 1. 生活者として対象を捉える 2. ライフサイクルにおける成長・発達を考慮して対象を捉える 3. 健康レベルで対象を捉える	シラバスを読み、到達目標、授業方法、成績評価方法などを確認する 前期の講義内容から、医療の動向と経過別看護の特徴を復習する(90分)	第1回目の学習内容を教科書・講義資料を用いて復習する(90分)
担当教員			
第2回	I. 成人期にある人の理解 4. 成人保健の動向	成人保健の動向について教科書を読み知識を整理する(90分)	第2回目の学習内容を教科書・講義資料を用いて復習する(90分)
担当教員			
第3回	II. 成人看護における倫理と看護者の役割 1. 成人看護にまつわる今日的倫理的課題 2. 看護者の倫理上の意思決定	成人看護にまつわる今日的倫理的課題、看護者の倫理上の意思決定について教科書を読み知識を整理する(90分)	第3回目の学習内容を教科書・講義資料を用いて復習する 第1～3回目の講義内容を復習し、理解度確認テストを受ける準備をする(90分)
担当教員			
第4回	III. 健康レベルに応じた看護援助 1.ヘルスプロモーションと疾病予防① 理解度確認テスト1	ヘルスプロモーションと疾病予防について教科書を読み知識を整理する(90分)	第4回目の学習内容を教科書・講義資料を用いて復習する(90分)
担当教員			

第5回	Ⅲ. 健康レベルに応じた看護援助 1.ヘルスプロモーションと疾病予防②	ヘルスプロモーションと疾病予防について教科書を読み知識を整理する(90分)	第5回目の学習内容を教科書・講義資料を用いて復習する(90分)
担当教員			
第6回	Ⅲ. 健康レベルに応じた看護援助 2.治療を必要とする対象の理解	治療を必要とする対象について教科書を読み知識を整理する(90分)	第6回目の学習内容を教科書・講義資料を用いて復習する 第4～6回目の講義内容を復習し、理解度確認テストを受ける準備をする(90分)
担当教員			
第7回	Ⅲ. 健康レベルに応じた看護援助 3.生活の再構築への支援を必要とする対象の理解 理解度確認テスト2	生活の再構築への支援を必要とする対象について教科書を読み知識を整理する(90分)	第7回目の学習内容を教科書・講義資料を用いて復習する(90分)
担当教員			
第8回	Ⅲ. 健康レベルに応じた看護援助 4.ターミナル期の援助を必要としている対象の理解	ターミナル期の援助を必要としている対象について教科書を読み知識を整理する(90分)	第8回目の学習内容を教科書・講義資料を用いて復習する(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	実施しない	
定期試以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	理解度確認テスト・課題・レポート	
その他	0	なし	
教科書			

成人看護学 成人看護学概論 第3版、大西和子・藤田 佐和(編集)、ヌーヴェルヒロカワ

参考文献

講義の中で随時紹介する

履修条件・留意事項等

課題・レポートの提出遅延、未提出は減点する

備考欄

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		医療保健科学部 看護学科(医療保健科学部)					
区分		専門科目 地域・在宅看護論					
科目名		地域看護学の基礎				ナンバリング	3620
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	1
担当教員	鹿内 あずさ						
授業の位置づけ							
<p>本学のディプロマポリシー「健康状態やその変化に応じた看護について必要となる科学的根拠に基づいた基本的な判断力・思考力・対象理解力を高め、看護師としての実践能力を有した人材(知識・技能)」に関連し、日本における現状の保健行政を理解し、地域看護の基本を学ぶ科目である。在宅看護学の基礎・在宅看護学の展開Ⅰ・地域包括ケアシステム論・家族看護学・在宅看護学の展開Ⅱの科目と関連し、在宅看護学実習等の専門科目の基礎となる。看護学の理論や科学的根拠に基づき、人々の健康的な生活を支援するための基礎的知識を獲得する科目である。</p>							
授業の概要							
<p>現状の保健行政の基本知識をもとに、地域で生活するすべての人々の健康が向上するために地域で展開される看護(行政看護・産業看護・学校看護・訪問看護)について理解する。地域看護の対象である個人・家族・集団に対して、社会の変化に伴う健康への影響を捉えた健康の保持・増進と疾病予防のための援助(健康診査・健康相談・健康教育)について、及び、地域を基盤とした健康課題の組織的な解決方法について学ぶ。</p>							
到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域看護の定義、対象、機能の特徴、歴史的変遷を理解できる 2. 地域看護の対象の特性を理解できる 3. 保健師をはじめとする地域の看護職の基本的特性と専門能力を理解できる 4. 地域看護の実践と技術の特徴について理解できる <ol style="list-style-type: none"> 1) 個人・家族・グループへの支援技術 2) 組織への支援技術 3) 地域全体への支援技術 5. 地域看護の倫理的原則を理解できる 							
授業の方法							
<p>パワーポイントと配布印刷物、及び、視聴覚教材を用いて講義形式で進める。 理解度を確認するために毎回の講義において課題を示し、学生自身が学んだ内容について記述する。 毎回の講義で、学生が記述したコメントシートを活用し、授業の振り返り、疑問の解決を図る。</p>							
ICT活用							
<p>視聴覚教材を用いて、地域看護活動の実際を学ぶ。</p>							
実務経験のある教員の教育内容							

看護師・保健師の国家資格を有し、訪問看護師としての実践経験や地域看護専門看護師としての実践経験を講義に活用する。

課題に対するフィードバックの方法

毎回の講義中質問・意見に対する返答を行い、毎回の学びのコメントシートから学びの共有ができるようフィードバックを行います。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	1. 地域看護とは 1) 健康な生活 2) 地域看護の目的 3) 地域看護の定義と機能 4) 保健師助産師看護師法 5) 保健師の就業状況	シラバス、1年前期に学習した在宅看護学の基礎の講義資料を読む(60分)	講義資料をもとに復習する(90分)
担当教員			
第2回	2. 地域看護を支える理念 1) ノーマライゼーション 2) 基本的人権 3) アドボカシーと権利擁護 4) 自立支援と自己決定 5) プラマリ・ヘルスケア 6) ヘルスプロモーション	前回の講義資料を読む(60分)	講義資料をもとに復習する(90分)
担当教員			
第3回	3. 地域看護の歴史 1) 日本の地域看護の歴史 2) 保健師資格 3) 地域看護教育の歴史	前回の講義資料を読む(60分)	講義資料をもとに復習する(90分)
担当教員			
第4回	4. 地域看護の対象 1) 地域で生活する人々の健康に関連する要因 [社会的要因、環境要因] 2) 地域看護活動の対象 [コミュニティ、システムとしての地域社会] 確認テスト①	前回の講義資料を読む(60分)	講義資料をもとに復習する(90分)
担当教員			

第5回	5. 地域看護の実践と技術 1) 保健師の活動の特性 2) 基本的な実践プロセス 3) 個人・家族・グループを支援する技術(DVD) ＜グループワークと共有＞ 4) 地域全体への看護技術 〔地域アセスメントの目的、地域の健康課題の 明確化、計画、実施、評価〕	前回の講義資料を読む(60分)	講義資料をもとに復習する(90分)
担当教員			
第6回	6. 地域看護の実践と技術(1) 5) 地域アセスメントに用いる理論・モデル 6) 人々(集団)への支援技術 〔健康診査、健康相談、健康教育〕 7) 地域住民との協働による地域づくり 確認テスト①のフィードバック	前回の講義資料を読む(60分)	講義資料をもとに復習する(90分)
担当教員			
第7回	7. 地域看護の実践と技術(2) 1) 地域を構成する組織への支援 〔支援の目的と特徴〕 2) 保健師の基本的能力と専門能力 確認テスト② / 課題の提示	前回の講義資料を読む(60分)	講義資料をもとに復習する(90分)
担当教員			
第8回	8. 地域看護における倫理 1) 看護者の倫理綱領 2) 地域看護の倫理的実践における原則 〔人権、アドボカシー、アカウンタビリティ、他職種との協働、公正、守秘義務、専門職としての研鑽〕 確認テスト②のフィードバックとまとめ	前回の講義資料を読む(60分)	講義資料をもとに復習する(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	定期試験は行わない。	
定期試以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	40	課題(20点)、参加状況・態度・毎回のコメントシートの記載内容(20点)を評価する。	
その他	60	確認テスト(60点:2回 各30点)にて評価する。	
教科書			

なし。

参考文献

講義内で紹介する。

履修条件・留意事項等

地域保健に関心をもって学ぶこと。評価物に不正行為が認められた場合はD判定となることもある

備考欄